

# 30th anniversary

明海大学浦安キャンパス

## 教育後援会 30周年記念誌





## 明海大学浦安キャンパス教育後援会 ロゴマーク

明海大学の「M」、教育後援会の「K」をモチーフとして中央に配し、学生の保護者である我々が、海を越え、風をとらえ、波打つように力強い明海大学とその学生たちを支援する様子をシンボル化。国際性、社会性、創造性に富んだ大学を、ともに生み出していく決意を表現しています。

## — 目 次 —

学歌	4
■ ご挨拶	5
浦安キャンパス教育後援会会長 戸澤五月	
■ 祝辞	6
学校法人 明海大学理事長 宮田 淳	
明海大学学長 安井利一	
浦安キャンパス同窓会会長 北原 淳	
浦安キャンパス教育後援会前会長 栗本真弓	
■ 20周年記念座談会ダイジェスト	10
■ 30周年記念座談会	12
■ 教育後援会の活動	18
■ 事業の変遷	22
■ 教育後援会寄贈品ピックアップ	26
■ 保護者アンケート集計結果	27
■ 歴代役員・現役役員	34
■ 写真で見る浦安キャンパス	36
■ 浦安キャンパスと新浦安の街並み	38
■ MEIKAI FUN	40
30周年記念事業実行委員会活動報告	42

# よあこび 学 歌

作詞:宮田慶三郎  
作曲:小 椋 佳  
編曲:小野崎孝輔

うみに ひらけゆくまち - みどりのしおがぜがふく - はくあまなびや - しずかに-ながれるかわ - せ  
い しんのときを ここで すごす よろこび ぶん かい においさくまち - そう ぞうのいぶきがわく -  
へといどむまち - かが やかしいゆめがとぶ -  
さざめくなみおと - ちゅうの-やさしいうた - ゆ た かなころが ここで そだつ よろこび  
そんげんとあいを - むねふか-くいだくひと - は る かなおもいを ここに むすぶ よろこび  
ああ このせかいを - いら だけ -とおりすぎる - なに か ひとつ ひと の ために - わた したちができる - なにか  
と みる D.S. を

Coda

一、明海に開けゆく都市  
みどりの潮風が吹く  
白亜の学舎  
静かに流れる川  
青春の時を  
ここで過ごすよろこび

二、文化匂い咲く街  
創造の息吹が湧く  
さざめく波音  
地球の優しい歌  
豊かな心が  
ここで育つよろこび

※ああこの世界を一度だけ通り過ぎる  
何かひとつ 人類のために  
私達にできる何かを

三、未来へと挑む基地  
輝やかなしい夢が飛ぶ  
尊厳と愛を  
胸深く抱く人  
遙かな想いを  
ここに結ぶよろこび

※くり返し



## 創立30周年を迎えて

浦安キャンパス教育後援会会長 戸澤五月



明海大学浦安キャンパス教育後援会は、今年で創立30周年を迎えます。本会が1988年に発足してから、2000年までの時期は、活動の土台を固めた草創期であり、2001年から2007年までの時期は、時代の流れの中で、本会の活動内容をより充実させるための精査を行った、充実期と位置づけることができるでしょう。そして2008年の創立20周年以降10年間の歳月の中で、やむなく活動を縮小せねばならない事業もありましたが、本会の活動は大きく発展してまいりました。

本会の活動は、地区教育懇談会や就職懇談会の実施、会報「潮風」発刊等の、本会主体の事業と、課外教育活動団体の支援、学園祭の支援等のように、学生の自主的諸活動支援と、長短期学生海外留学研修派遣の支援、学生食堂の支援などの大学実施事業支援という3つの部分から成り立っております。

それらの活動の中で、本会主体事業の1つである地区教育懇談会開催は、活動の主軸になっております。地区教育懇談会は、北は北海道、南は沖縄まで全11カ所で12回（関東地区は2回）開催されております。

地区教育懇談会に出席して下さった保護者の方々からは、実際にお世話になっている先生方と直接お話をすることで、不安や心配が解消されるため、このような場をぜひこれからも続けてほしい、という嬉しいお言葉を多々いただいております。また、出席されている皆さまの前で、4年生の保護者の方が、決まった就職先の報告をし、お世話になった先生方へ、お礼を述べる姿もしばしば見られます。とても微笑ましい一時です。

このような本会の活動も、安井学長をはじめ各学部の諸先生方、職員の方々の温かいご理解とご協力があってこそその賜物です。

現在明海大学でお世話になっている4年生の娘の姉も、明海大学の卒業生です。安井学長の社会で役に立つ人間に育てる教育という、オープンキャンパスでのお話に感動し、親として子どもを安心して預けられる大学だと、信じることができました。

卒業した娘のときも今回も、本会に関わらせていただき、大学の先生方と学生たち、保護者の方々の、心の距離がとても近いと感じました。私は本会に関わっていることを誇りに思うとともに、本会のみならず、学生たちが少しでも自分の思い描いた夢の実現に向かい、充実した学生生活を送れるように、また保護者の方々には、大学のさまざまな様子を情報発信し、少しでも大学を近くに感じていただけるように活動してまいりたいと存じます。

最後に、明海大学のますますの発展と本会が今後も受け継がれていくことをご祈念し、私のご挨拶に代えさせていただきます。

# 明海大学浦安キャンパス 教育後援会創立 30周年によせて

学校法人明海大学 理事長 宮田 淳



明海大学浦安キャンパス教育後援会創立30周年を迎えるにあたり、学校法人明海大学を代表し心よりお祝いを申し上げます。教育後援会の皆様におかれましては、本学の教育・研究活動、課外活動や体育会活動に対し多大なるご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

本学は1970年に城西歯科大学として歯学部からスタートし、1988年に外国学部、経済学部を設置し浦安キャンパスを開学、その後不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部の設置、PDI 浦安歯科診療所の開設等、今年まで48年の歴史を重ねてまいりました。そしていよいよ2020年に日本でオリンピック、パラリンピックが開催される大変おめでたい年に本学は創立50周年を迎えることとなります。これからの国際社会で通用する実力を身につけ、「広く国際未来社会で活躍しうる有為な人材の育成」という建学の精神を具現化すべく、様々な改革を進めております。

浦安キャンパスでは、ホスピタリティ・ツーリズム学部のグローバルマネジメントメジャー(GMM)で1年間海外のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学を必修化する等、留学プログラムを充実し、留学生の受入や海外提携校との相互交流に注力しております。また、2017年4月に日本人教員とネイティブ教員が連携し、複言語・複文化教育を展開する明海複言語・複文化教育コモンズ(MPPEC)を開設、本年4月には教職課程センターを教職課程センター・地域学校教育センター(METTS Commons)としてリニューアルするなど、修学環境の整備にも努めております。MPPECは、グループワークやプレゼンテーション等、アクティブラーニングを積極的に実践できるよう、訪れる学生たちの目的に応じて利用できる施設となっており、METTSは、教職課程の学生のみならず一般学生にも門扉を開き、学びの場を幅広く提供しているのが特徴です。こうした教育を通じて、学生の夢の実現をサポートしてまいります。

また、社会で活躍するための基礎的な能力の育成も必要であり、各学部では資格取得にも力を入れております。経済学部の経済学検定・日商簿記検定、不動産学部の宅地建物取引士、外国学部やホスピタリティ・ツーリズム学部の語学運用能力など、知識や技能を学習成果として明確にし、その修得をすべての学生に図るカリキュラムの充実、工夫に努めております。

2018年は18歳人口が更なる減少期に入り、大学にとっては全体的に受験者・入学者が減少するなど、非常に重大な局面を迎えておりますが、今後も本学が社会から「選ばれる大学」、そして「選ばれ続ける大学」へ進展するために、様々な改革を推進してまいります。

教育後援会の皆様におかれましては、大学とともに学生の豊かなキャンパスライフの実現、大学の更なる発展、充実に向けてこれからも変わらぬご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

## 明海大学浦安キャンパス 教育後援会創立 30周年を祝う

明海大学 学長 安井利一



私が明海大学の学長を拝命して最初の大仕事は2008年に行われました浦安キャンパス教育後援会創立20周年のお祝いでした。今でも、鮮明に覚えています。

今年、2018年に創立30周年を迎えられますこと心からお祝いを申し上げますとともに、大学や大切な学生諸氏にご支援をいただいておりますことに深甚なる謝意を表します。

浦安キャンパス教育後援会は浦安キャンパスが設置された年に誕生していますので、浦安キャンパス自体も目出度く30年の月日を大過なく過ごすことができました。これも教育後援会の会長をはじめとした会員の皆さまの温かいお気持ちでなしえたことと思っております。20周年の時には、谷昭夫様が第15代会長としてご尽力されておられました。今でも、ご尊顔を拝すると、その当時のことを思い出して懐かしくなります。その後、仲村会長、釘崎会長、印南会長、永井会長、藤井会長、松田会長、塩谷会長、久村会長、佐藤会長、そして第25代栗本会長と一緒に活動をさせていただきました。教育後援会は、サマーキャンプや学園祭、そして卒業パーティーなどの学生の自主的諸活動に対する支援、学生海外留学研修派遣支援や学生食堂への支援など大学が実施している事業への支援など学生や大学が支援いただいている事業のほかに、教育後援会の主体事業として地区教育懇談会の開催があります。9月頃の北海道地区教育懇談会を皮切りに沖縄地区教育懇談会まで浦安キャンパスにおける2回の事業を加えますと、全国で12回にわたり地域のご父母との懇談会を開催しています。この事業のおかげで、明海大学浦安キャンパスの教育方針などを直接参加者の保護者の方に伝えることができ、またその都度、教育後援会役員の皆さまと会話を持つことで、大学の舵取りに役立たせていただきました。また、事務局の事務長にも私たちの間の調整等にご尽力をいただきましたこと厚く御礼を申し上げます。

教育後援会会長経験者や事務長経験者の皆さまと昨年12月22日、23日と明海大学勝浦セミナーハウスで会合を持つことができました。その中でも、本学に対する熱い思いと、期待と、励ましをたくさんいただきました。学長として「教育後援会に育ててもらったな」としみじみ感じる機会でした。宮田理事長とともに、大学の永遠の生命を預かりながら、教育後援会の皆さまにますます満足していただける明海大学を目指したいと思います。社会性、創造性、合理性をしっかりと身につけて国際未来社会で活躍してくれる若者を育てていきます。浦安キャンパス教育後援会創立30周年、誠におめでとうございます。

# 教育後援会 創立30周年にあたり

浦安キャンパス同窓会会長 北原 淳



明海大学浦安キャンパス教育後援会創立30周年、誠におめでとうございます。浦安キャンパスの同窓生を代表し、心よりお喜び申し上げます。

「もう30年か!!」というのが私の率直な感想です。教育後援会は私が入学した1988年に発足しています。つまり、一期生が入学してすぐに活動を始められたわけです。当時は、新しい大学ということで、何もかもがゼロからのスタート。学生、ご父母、教職員など大学に携わる全ての皆さんが、手探り状態でそれぞれの活動を進めていました。特に私たち学生は知恵も経験もないなか、自らの手で一つ一つ切り開いていかなければならない状態でしたので、学生生活における教育後援会の温かいご支援は本当に有難いものでした。創成期には、「学生のために何ができるのか？」を検討するために当時の役員の方々と頻りにディスカッションしたことを今でも覚えています。そして、その時の「思い」や「考え」が継承され現在の活動基盤となっていると感じています。

一方、我々同窓会も昨年25周年を迎えており、少しずつ成長を続けております。創立当初は「子どもと親」のように同窓会が教育後援会を頼ることが多かったのですが、私たちが年を重ねたこともあり、最近では少しずつ対等な関係に近づいてきたのではないかと僭越ながら考えております。いずれにせよ、両会は「明海大学の発展に寄与する」という共通の目的を持っていますので、これからもお互いを高め合い、力を合わせて活動し常に進化していきたいと考えております。

創立以来30年の間には、役員の方々が中心となりたくさんの方々がご尽力を注がれていました。その時々に応じたご苦勞があったとお察ししております。学生と大学のためにお力添えいただいた全ての方々の心温まるご支援に感謝申し上げますとともに引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。改めて、創立30周年を心よりお喜び申し上げます。



## 教育後援会 創立30周年を迎えて

浦安キャンパス教育後援会前会長 栗本真弓



明海大学浦安キャンパス教育後援会創立30周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

私は、10年前に教育後援会の役員として20周年をお祝いさせていただきましたが、今回は初の女性会長として就任させていただき、25代会長としてこの30周年を迎えられましたこと、誠に喜ばしく思うと同時に、この教育後援会に御縁を感じている次第でございます。

そのような立場であるからこそ、この10年間の歩みと時代の流れを実感しています。

歴代の会長のもと役員の方々が築き上げてきたいろいろな活動、「学生の自主的諸活動の支援」や「大学実施事業への支援」などがありますが、その時代に合わせて廃止されたものや、反対に強化充実されたものなどありました。その中でも教育後援会の「主体事業」であります地区教育懇談会では、会場増設の多さに驚きました。10年前は6地区7会場でしたが、現在では北海道から沖縄までの全国11会場12回の開催となっています。

各地区へ教育後援会の役員と大学の教職員の方々と出向き、保護者の皆様と近い距離で話ができるこの会は、大変活発な活動を続けております。

教育後援会の活動の中で、同じような「保護者の会」がある大学への視察という活動がありましたが、このようなかたちで活動しているところはあまりなく、明海大学浦安キャンパス教育後援会の大きな特色であり、これからも発展していくべき事業だと改めて思いました。

子どもも成長し、親離れ子離れは自然としていくものですが、子どもが社会人へと成長していく姿を見届けたい保護者の思いと、学生が明海大学の建学の精神に基づき、広く国際未来社会で活躍できるような人材育成の教育を行ってくださる大学とを繋いでいくことが、教育後援会の役割の一つだと思っています。

これからも、各年代の会長を中心として、その年代に求められる教育後援会の活動をしていただきたいと思います。

最後になりましたが、明海大学浦安キャンパス教育後援会のますますのご発展と皆様のご活躍を祈念いたしまして、創立30周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

## ◆ 20周年記念座談会より

### 1988～2000年 教育後援会草創期（初代～8代会長）

#### 〈事業・活動〉

##### ● 試行錯誤しながら土台固め

初年度は役員5名でスタート。当時は父兄会といていた。事業も手探りの状態で、大学事務局と相当やりとりをしながら、先生方に本を作ったり、吹奏楽部の楽器購入に1千万円を超える援助をするなど、とても喜ばれた。

3代目の時期には、まだ歴史も浅くベースになるものもなかったので、まずは役員とのコミュニケーションが第一ということも含め、会議を何回も行き、良い雰囲気を作れた。

4代目で4学年までそろそろ。予算・決算が莫大な金額なのに驚き、たった20人の役員で決めてよいものだろうか、「評議員会」を作り、予算・決算を承認していただくことに。また、父兄会という名称はおかしいとの意見もあり、「教育後援会」という名前に決まった。親睦を深め教養を高めようと研修旅行を企画。郡山で第1回地区教育懇談会開催した。

##### ● 援助の方向性を模索

5代目、1995・1996年度には、歯学部の父母会との合同懇親会行う。また大学の事業への支援ということで、賛否両論あるなか、とにかく、まだ制度ができていない海外派遣の制度を発足させようと援助。初めての海外視察としてアメリカ東部地区の大学を視察。もうひとつ、「潮風」で新春対談を企画し、初代宮田慶三郎理事長と対談、そのとき、現在の「潮風」の題字をいただいた。

6代目のとき10周年を迎える。記念事業として「感謝の会」を開き、理事長、学長、大学の全スタッフのほか、温かく見守り育てていただいた浦安市の地域の関係者を招き、感謝状を贈った。これをきっかけに自治体等との関係が良好なものになる。初めて大学・教育後援会合同で「日中平和友好条約締結20周年記念中国全国日本語大学生交流大会」へ参加、中国の大学を視察した。

7代目の1999年度は20世紀最後の年。大学が競争時代に突入し、厳しい環境下で魅力ある大学づくりの取り組みが動き出している。韓国、オーストラリア、台湾の大学と交流が結ばれ、大学院の修士課程を設置。

設備面でもトレーニングセンターやクラブハウスが作られコートも公式試合ができる規格に改修。学長が高倉先生に代わり、「大学と教育後援会はイコールパートナー」とのお言葉をいただいた。

2000年度。「IT」という言葉が使われ始め、就職状況が厳しくなってくる。それでも浦安にはエキスピアリ、東京ディズニーシーができる予定で、「ここの協調関係を作ることができれば、ほかの大学とは違うメリットが生まれるのでは」と関係構築を模索。新しい事業としては、卒業アルバムを教育後援会で購入して卒業生全員にプレゼントした。

#### 〈これからの会の活動、大学へ望むこと〉

充実したキャンパスライフの実現のために必要なものは？ 学生会館より学生寮が必要では。時代に合った提言をすべき。これからの時代は資金面より知恵を絞ったソフト面での支援が重要。大学をPRするには特筆できるようなもの、たとえば箱根駅伝に出場できれば、等々、熱い思いの意見が続く。

また、大学には、施設よりソフト面での充実を、将来やりたいと思えることを示す教育を。学生にはとにかく学問をしてほしい。経営者は、日本でも屈指の大学を目指すという気概でやってほしい。いつまでも素晴らしい大学であってほしいし、大学、同窓会、教育後援会が協力して明海大学を全国区に押し上げたい。



〈座談会出席者〉前列右より 加藤想士氏（6代）、白石雅章氏（4代）、岡本長吉氏（初代）、黒田学氏（3代）、丹下剛氏（5代）  
後列右より 仲村務氏（司会）、稲葉光治氏（8代）、山岡達哉氏（7代）、谷昭夫氏（15代）、福山武夫事務長

（2008年1月10日／オリエンタルホテル東京ベイにて）

## 2001～2008年 教育後援会充実期（9代～15代会長）

### 〈事業・活動〉

#### ●時代の流れに合わせた取り組み

9代目の時期は、経済状況が悪く、父親がリストラに遭い勉強が続けられない学生も出てきた。奨学金希望者が大きく増える。大学は国際交流に力を入れ、当会も留学支援の枠を広げる。立命館大学を視察、就職支援についてヒントを得る。また優秀な学生に対する表彰制度があり、本校でも取り入れたいと考える。

10代目のとき、9代目会長と連動して、立命館大で視察した表彰制度を立ち上げ、合わせて奨学金制度も見直す。海外研修で韓国の大学を視察、韓国在住の卒業生が引率してくれ大変助かる。大学だけでなくその国に触れたいと釜山から慶州まで回り、より研修が深まった。

11代、新規事業をいくつか立ち上げ、盛りだくさんだった。地区教育懇談会の地域を増やし、新規に盛岡と浦安キャンパスで3年生対象の就職懇談会を開催。教育後援会のHP開設。スポーツや文化活動に功績のあった学生を表彰する制度を開始。大分県別府の立命館アジア太平洋大学の視察も行った。

#### ●収入減で事業見直し

2004年度（12代）は、新しい事業というよりは、既存の事業を次の代へ引き継ぐことを考えた。バブル経済が崩壊し、学生たちにとっては就職氷河期が続く。奨学金の返還が遅れがちで、制度の存続が危うくなり、弁護士に頼み回収手続きのメドをつけるということも。大学に新しい学部—ホスピタリティ・ツーリズム学部（HT学部）ができるということで、アメリカを視察。日本と全く違う、大学の考えや設備に驚かされる。

2005年度、13代のときにHT学部発足。この頃からだいぶ就職環境が好転したという実感が。それまでの事業をより充実させたいと考え、問題提起し、議論を深めつつ次の代へ引き継ぐ。

2006年度は、九州地区福岡で地区教育懇談会を試験的に開催。少人数で、全体会議と懇親会のみで行った。その成果をもって、信州地区での新規開催を引き継ぐ。予算面では、会費の減額や学生数の減少が影響し、収支のバランスがくずれていたため、12代から



〈座談会出席者〉前列右より 中田俊一氏（9代）、山内薫氏（10代）、大塚博行氏（11代）、横濱孝雄氏（12代）、鈴木陽夫氏（13代）  
後列右より 仲村務氏（司会）、谷昭夫氏（15代）、篠原康光氏（14代）、福山武夫事務長

の3年計画で予算の見直しを行う。大学とも協議を重ね、大学で負担すべきは負担していただき、次年度からは会費だけでその年の事業ができるように引き継ぐ。

2007年度（20周年記念座談会開催年度）。福岡の地区教育懇談会は個別面談の希望があり、教育後援会から会長、副会長、大学から学長、学部長、大学職員が参加して面談を行いとても喜ばれる。長野でも初開催。大学視察では、中京大学へ。最寄りの駅には「中京大学」の名がたくさん書かれ、お金をかけている。地区教育懇談会も年間30カ所くらいで行っている。

#### 〈これからの会の活動、大学へ望むこと〉

地区教育懇談会はよい事業。参加者は大学について知識が深まり、明海大学を理解してもらえ。コンパクトな地区教育懇談会を47都道府県で開催してはどうか（負担が大きいときは役員OBのわれわれを使っただけでいい）。知名度アップには舞浜駅や東京駅での宣伝。オリンピック選手を出す、HT学部と不動産学部はさらに特徴を伸ばし、この仕事なら明海大と思える大学に。地方から見たらうらやましい街浦安市にあるメリットをもっと活用。PRにOBの力を結集してフォローしていく。

社会の情勢が変わり、会の果たす役割も学生支援だけでは十分でないかもしれない。企業や行政、地域社会との連携を考えながら全国に散らばった評議員を束ねて組織化する時期ではないかと思う。

（2008年1月17日／オリエンタルホテル東京ベイにて）



## 教育後援会 30 周年記念座談会

# 過去20年を踏まえた次の10年 教育後援会の「発展期」を振り返る

明海大学浦安キャンパス教育後援会が発足し、30周年という大きな節目を迎えた。

発足からの20年を振り返ると、最初の10年間は試行錯誤しながら教育後援会の役割を模索し、土台を固めた「草創期」、その後の10年は、それまでの10年間で作り上げた確固たる土台の上に、さらなる創意工夫や新たな事業を積み重ねて、教育後援会の存在価値を高めていった「充実期」と言えるだろう。

そして迎えた次の10年。2011年に起こった東日本大震災や、少子化による学生数の減少等にもなった困難に直面しつつも、教育後援会が大切にすべきこと、活動の軸にすべきことを着実に実行し続けてきた。将来につながる明るい見通しを見出した「発展期」と呼べるのではないだろうか。

そんな「発展期」を、歴代の会長が一堂に会して語り合った。



### 20周年から次のステージへ 矢先に起きた東日本大震災

**戸澤** 30周年祝賀会に先駆け、16代から現在まで歴代の会長に集まっていただきました。われわれ教育後援会の最初の約10年を草創期、次を充実期と捉えておりますが、さて、その後の私たちの10年間の歩みは何期と言えるで



戸澤五月氏

しょうか。そのあたりも踏まえてざくばらんにお話を聞かせてください。まずは、お一人ずつ、ご自身が会長のときにどんな活動をされたのか、特徴的な点を挙げていただけますでしょうか。

**仲村** 16代の仲村です。20周年の際にも同様の座談会の場がありまして、そのとき、私は司会を務めておりました。10年も前のことですので、詳細には覚えておりませんが、歴代の会長がさまざまな思い出を振り返り、自然と話が盛り上がっていったと記憶しています。

さて、私が会長に就任した20周年の年には、大学側からの要望を受けて、およそ1000万円の予算を組み、キャンパス内の野外ステージを、そして浦安歯科診療所脇の通路に植えられているジャカラングの木も寄贈させていただきました。



仲村 務氏

また、現在は行われていませんが、当時は海外の大学へも視察に行っていました。私の代はオーストラリアへ。寮などの施設を見せてもらったり、教員に会ったりして、明海大学から留学する学生の受け入れ態勢に問題がないかなどを確認しました。

**釘崎** 17代の釘崎です。私は会長職をお引き受けしてすぐに社命



- 出席者** 16代会長 仲村 務      17代会長 釘崎 徹      19代会長 永井 通  
 21代会長 松田清志      22代会長 塩谷 毅      23代会長 久村 充  
 24代会長 佐藤恒久      25代会長 栗本真弓  
 (18代会長 印南彰雄氏、20代会長 藤井慶三氏は欠席)
- 司 会** 25代副会長 戸澤五月 (敬称略)

で単身赴任の身となり、平日の教育後援会活動への参加が難しくなっていました。加えて安井利一学長は就任されたばかりで、教育後援会の事務長も交代するというタイミングでした。そんな状況でしたから、私としてはしっかりと地固めをして次の代につなげることを意識しました。

とは言え、せっかくなら自分のカラーを出していこうと、広報紙「潮風」をより親しみやすくやわらかいトーンに変更することにしました。保護者にレポーターとしてキャンパス巡りをしてもらおう企画を取り入れたんです。また、教育後援会は、はたから見て何をしているか分かりづらいのではない

かと思っていたので、各地での地区教育懇談会や卒業式（学位記授与式）、入学式など保護者や学生の前で話をする際には、私たちの日頃の活動内容を必ず入れ込むようにしていました。

もう一つ忘れてならないのは、ジャズオーケストラ部が創設された年であること。教育後援会として、グランドピアノなどを寄贈させていただきました。

余談ですが、現会長の栗本さんは当時副会長で、私が仕事で急遽教育後援会の行事に参加できなくなったときでも、何事もなかったかのように代役を務めていただきました。栗本さんの肝の据わりようは昔からでした。改めて感謝申

上げます。

**永井** 19代の永井です。私が会長を務めた2011年に東日本大震災が発生しました。3月11日の震災発生時には、私の息子は大学近くのイトーヨーカドーでアルバイトをしまして、建物から出たら、外は大変な状況だったと聞きました。下宿先が住めない状況になってしまった学生もいたそうです。卒業式はどうなるだろうと思っていましたが、結局中止になってしまいました。卒業生の気持ちを考えるとつらかったが、致し方ない状況でした。しかし、地元の方々などにより驚くような速さで復旧作業が行われ、入学式は

予定通り行うことができました。当時は学生たちがさまざまなところでボランティアとして泥をかき出す作業などに参加してくれていて、とても心強かったです。

ただ、被害の大きさが報道されたこともあり、新浦安のイメージが悪くなって次年度の入学生が減少するのではないかと心配でした。いろいろなところで「新浦安の復旧状況はどうなの？」と聞かれ、その都度「大丈夫ですよ」と答えていたことを思い出します。翌年度からは、大学はもう平常通りの姿に戻りましたが、学生数は若干減少。とは言え、学生数の減少が顕著だったのは一昨年と聞いていますので、それが震災の影響なのかは定かではありませんが、震災が起きてしまったことは仕方がないこと。自分たちには何ができるかと前を向いて取り組んだ1年でした。

### 予算や学生数の減少を実感 知名度アップが課題

**松田** 21代の松田です。私が会長に就任した2013年には震災の影響はだいぶなくなってきておりましたが、前年の会長であった藤



塩谷 毅氏

井さんはご苦労が絶えなかったことと思います。2013年度は、これまで2、4年次のみを対象にしていた地区教育懇談会の対象を、関東のみ全年対象に拡張しました。2、4年次の保護者の参加者数が157人だったのに対し、1、3年次の保護者の参加者数は196人と多く、地区教育懇談会への期待値や関心度の高さを実感しました。

この頃から、学生数が徐々に減ってきて、教育後援会の予算も減ってきた時期でしたし、現在は90%を超える就職率もその頃は80%前半で、まだ厳しかったですね。

**塩谷** 22代の塩谷です。私が会長になった2014年に理事長の交代があり、宮田淳理事長が新たに就任しました。就任後、理事長と教育後援会役員との座談会を行い、理事長の想いなどを直接うかがうことができたのは良い機会でしたね。

また、松田さんもおっしゃっていましたが、私も就任期間中は少子化の影響を感じていました。学生数が減少し、教育後援会の活動も縮小していく流れになっていったことを覚えています。だからこそ、私は明海大学を世の中に知ってもらうことが大切だと思い、すべての地区教育懇談会に出向き、できうる限り学内外の行事にも出席して、明海大学の良さ、教育後援会の役割について話をしました。少しでも隣近所の方に明海大学っていい大学だよということが広まればと。サッカー部が関東リーグの入れ替え戦に臨んだ時も応援に行きました。明海大学の名前をなるべく世の中にとどろかせてほしいという気持ちがあり、ヨット部



松田清志氏

のヨーロッパ遠征の支援など、体育会への支援も積極的に行いました。

### 地域貢献と保護者への情報提供 地区教育懇談会の意義を再認識

**久村** 23代の久村です。私は子どもが2年生の時から後援会に携わり始めました。浦安に住んでいますので、少しでも地域貢献になればと思い、会長を引き受けました。学生数が減ってきて、予算が厳しい中で事業の見直しをしなければならなかったのですが、どうしたら学生をバックアップできるかと考えて模索したことを覚えています。

会長就任期間中、一番印象深いのは、ある地方の地区教育懇談会での保護者との会話です。お子さんは病気がちだったそうなのですが、無事に卒業でき、地元で就職も決まると、涙ながらにお話をしてくださって、こちらもぐっときてしまいました。地方にいる保護者は子どものことをとても心配しています。そんな保護者と大学のパイプ役となることが教育後援会の最も重要な事業だと実感した瞬間でした。地区教育懇談会では、

大学の職員だけでなく保護者と同じ立場である私たちと話すことで、親近感を抱いてくださる方が多く、保護者との距離が縮まった印象がありますね。

**佐藤** 24代の佐藤です。塩谷さん、久村さんもおっしゃっていましたが、やはり私の就任時も予算の面での難しさがありました。繰り越した予備費を切り崩していくのもどうかと思い、秋山事務長にシミュレーションをしてもらい、赤字をなるべく少なくする予算組みをしていきました。久村さんの話にもありましたが、教育後援会のコアの事業は地区教育懇談会であるというのが役員の間での共通認識としてありましたので、少ない予算の中でも地区教育懇談会はしっかり、また、子どもたちの将来につながる就職懇談会も力を入れてやっていこうと話しました。

**栗本** 25代で現在会長を務めています、栗本です。教育後援会の歴史の中で初めての女性会長ということで、不安な面もありましたが、2006年から4年間教育後援会の活動を経験しておりまして、歴代の会長と顔見知りになる機会があり、きっと皆さんが応援してく



佐藤恒久氏

ださるだろうと思い、引き受けさせていただきました。これまでの男性会長のような威厳はありませんが、女性だからこそ細やかな視点と、お母さんのような真心で活動することで、学生・大学・保護者のトライアングルを強固にしていければと思っています。

前任までの会長がだいぶ堅実な予算の使い方をしてくださったおかげで、バランスがとれた収支となっており、私は30周年の記念式典に集中することができています。ありがとうございます。ただ、教育後援会の奨学金を借りる学生が少なくなるなど、支出面の変化を実感していきまして、その分の予算を今後どう使っていくか、次の世代にどうつなげていくかについては、課題の1つとして次年度以降も話し合っていくべき事案だと思っています。

### 地区教育懇談会の今後 大学 PR の場にはできないか

**戸澤** 皆さん、ありがとうございます。お話をうかがっていると、教育後援会の事業において、地区教育懇談会がかなり重要な位置づけにあると感じます。何か、これまでお話くださったもの以外に、地区教育懇談会での印象的なエピソードなどがある方はいらっしゃいますか？

**栗本** 沖縄にうかがった際、何気なくお話をした保護者がいたのですが、子どもがなかなか大学に行けないと悩んでいました。先生にも相談をされたようなのですが、ぜひ懇親会にもご参加くださいとお誘いし、急遽参加していただくことになって。そこで、同じ沖縄



栗本真弓氏

在住の保護者と交流が持て、その後、子ども同士もつながることができて友人同士になり、近くに引越すなどして徐々に大学へ行くことができるようになったそうです。保護者同士のつながりが、子どもの関係性にも影響を及ぼすのだなと思い、それがかなう地区教育懇談会は大切な機会だなと思いました。

また、以前に参加した派遣留学生壮行会の様子を地区教育懇談会の冒頭の挨拶の中で話をしたことがあって。留学を控えた学生たちが希望に満ちたキラキラした目をしていたという話なのですが、その後、いつもはあまり相談者がいない留学相談のブースに列ができていたのを見て、とてもうれしかったです。

**永井** 以前、東洋大学へ視察に行った際、教育後援会に近い組織があるということを知ったのですが、地区教育懇談会のようにこれほど手厚い事業をしている大学は明海大学くらいではないでしょうか。学生や保護者を全面的にバックアップする教育後援会という組織があるというのはすごいことだとあらためて感じます。

**久村** 東北学院へ視察に行った際、後援会の予算はほとんどが部活動の支援に使っていると聞きました。

**仲村** 中京大学もそのようなスタイルだと聞きましたよ。

**佐藤** 地区教育懇談会は珍しい事業なのでしょうね。2016年度は北陸地方でも40人も保護者が来てくださった。自画自賛になってしまいますが、保護者が大学の環境や子どもの様子を知ることができる機会になっているのだろうと思います。こういった特異な活動について、取材などが入り、世間に知っていただくことができればうれしいですね。

**塩谷** 限られた予算の中でこれだけ核となる事業が充実しているのは素晴らしいことです。誇れるイベントがあるのは良いこと。ずっと続けていてもらいたいですね。そしてさらに、できることはないかを考えても良いかもしれません。地区教育懇談会の際に、その地方の高校生に明海大学のPRをすることはできないでしょうか。

**釘崎** そうですね。直接高校生にとまではいかないにせよ、高校の



久村 充氏

進路担当の先生方に来ていただいて、大学の紹介ができる場にもできそうですね。せっかく各学部の先生方も参加していらっしゃいますし。

**久村** 以前、何度か高校に声をかけたこともあったようですが、まだ実現に至っていないと聞いたことがあります。これからですね。保護者にもっとPRして、参加率をさらに上げていくことも今後続けていく上では大切なのではないのでしょうか。

**永井** 4年間皆勤賞で参加してくださった保護者が、私を覚えていてくれて、卒業式の懇親会で声を掛けてくれたこともありました。そういった保護者とのつながりが役員のやりがいにもつながりますよね。

## 次の10年に向けて 地道な長所アピールが必須

**戸澤** 地区教育懇談会の場を、明海大学を高校生に知ってもらう機会にというお話がありましたが、大学の知名度を上げることは学生数増加に直結する大切なことですよね。他に、何か大学の知名度、価値を上げていく手段はないのでしょうか？

**釘崎** やはりメディアに取り上げてもらえるのが一番ではないかと思えます。なにせ、広告宣伝にはお金がかかりますので。例えば、仲村さんが会長の際に植えたジャカランダの木。10年間ですっかり地元のお花見スポットとして定着し、花が咲くとたくさんの人たちが訪れると聞きます。そのような話題



釘崎 徹氏

を世間に伝えられたらおもしろいかもしれません。毎年、1本ずつ木を増やしていったらジャカランダ通りができればインパクトがありそうです。

**仲村** 実は、ジャカランダの植樹は、私の4年くらい前の会長の時からあった案で、20周年のタイミングによりやく叶ったものなんです。

**戸澤** そうなんですね。昨年もきれいに花を咲かせていまして、その写真は記念誌にも載せる予定です。話題になるといいですね。

**塩谷** 学生と教員の距離が近いアットホームさ、教員の面倒見の良さもPRポイントになると思います。

**久村** その点は地区教育懇談会で話を聞いても保護者の評価が高いですから、保護者の声をもっと大学紹介の媒体などに入れ込んで良いのでは。

**栗本** 図書館や学生がくつろぐスペース、その他教育に関する施設もそうですが、学ぶための環境もどんどん良くなっているのも特徴



ですよね。学長が地区教育懇談会の度に保護者にスライドで紹介していますが、設備の充実ぶりに保護者はいつも驚いています。やはり、保護者の口コミで良さを広げていくことが、地道ではありますが一番説得力のある方法かもしれません。私自身も地区教育懇談会で保護者とお話するときにはいつも、「明海大学の宣伝をしてくださいな」とお伝えしています。

**永井** 就職懇談会の実施など、大学と教育後援会がタッグを組んで学生のためになることを粘り強く続けていくことが、「明海大学はいい大学だ」と保護者や卒業生が評価してくれることにつながりますから、大切にしていきたいですね。

また、以前、台湾から明海大学に留学していた卒業生と話す機会があったのですが、寮の環境の懸念点についてなど、率直に意見をしてくれました。留学生に対する

フォローも今後は必要なのかなと思います。留学生は皆とても熱心で、そんな留学生と触れ合うことで、日本の学生がいい影響を受けてくれるといいなと思います。

**仲村** 明海大学のウリになっている不動産学部だけでなく、もっとたくさん特徴はあるわけですから、それをしっかり打ち出して、次の10年間も「第2次充実期」となることを願っています。

**佐藤** そうですね。私自身、浦安の住民で地域にある大学を通じて何かできればと思い、会長を引き受けました。このようにたくさんの人とつながりができ、ありがたい縁をいただきましたし、子どもも無事卒業をさせてもらいましたから、明海大学がますます発展するのを見守っていきたいです。

**戸澤** 皆さんのお話をうかがって、地区教育懇談会が学生のため、保



永井 通氏

護者のために力を尽くして活動していることがよく分かりました。学生・大学・保護者の3者の関係を深めていくことが大切だという共通認識を失うことなく、まずは明海大学の次の10年をどうしていくのか、その時々で課題を解決しながら、活動を続けていけたらと思います。

本日はありがとうございました。



(2018年1月25日/浦安ブライトンホテル東京ベイにて)

# 教育後援会の活動

## ① 目的

本会は、在学生の保護者と大学との緊密な連絡、会員相互の親睦を推進し、あわせて外国語学部・経済学部・不動産学部・ホスピタリティ・ツーリズム学部学生の福利厚生増進と課外活動等の援助を図り、明海大学の発展に寄与することを目的とし各種の事業（行事）を行っております。

現在、浦安キャンパス4学部に在学する学生数は3,177人余りを数えております。また、在学生には500人を超える外国人留学生を受け入れており、中国、ベトナムを筆頭に、韓国、ネパール、スリランカ等アジア地域をはじめ、フランス、アルバニア、米国など計14カ国からの外国人留学生が学んでおります。

## ② 組織と運営

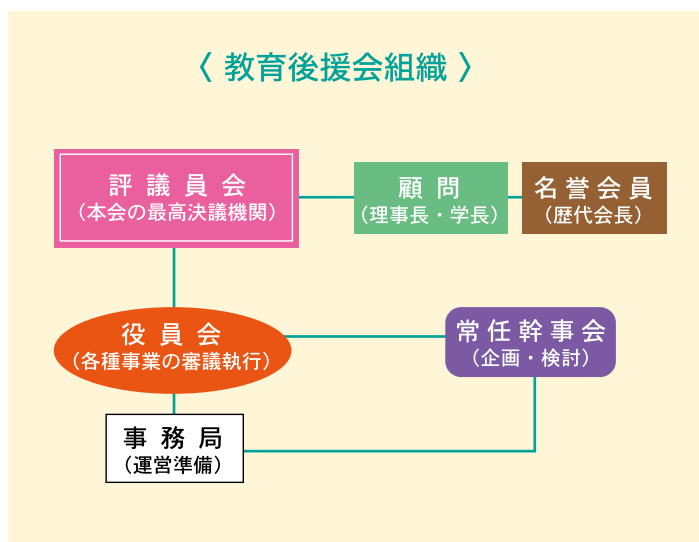
### ▶ 評議員会

評議員会は、本会の最高決議機関として、年度の初め（5月）に開催され、全国各地区から選出された60名の評議員により組織されています。また、評議員会においては、事業計画（案）及び収支予算（案）の承認並びに、事業報告及び収支決算の承認に関する事項や、新役員候補者及び新評議員候補の選出、承認に関する審議が中心となります。



### ▶ 役員会・常任幹事会

役員会は、評議員会の承認事項に伴う年内行事（事業）を推進実施するため年6回程度役員会を開いています。学生側（学友会）から援助申請のある学園祭や部活動、卒業パーティーや、学生食堂へ多くの援助や補助を行い、少しでも学園生活に潤いを与えるべく活発なる審議を重ねております。また、教育後援会として保護者各位への情報提供を図り、広報紙の発行や地区教育懇談会の開催事業等、より一層充実させるため、常任幹事会及び役員会等で協議し、教育後援会活動の運営が円滑に行われるよう努めております。



### ③ 事業・援助紹介

教育後援会の事業は、大きく分けて【教育後援会主体事業】、【学生の自主的諸活動支援】、【大学実施事業支援】の3つに分かれています。そして、年度により増減はあるものの、それぞれが10前後の事業・支援を実施しています。

そのなかから、主な活動を紹介します。



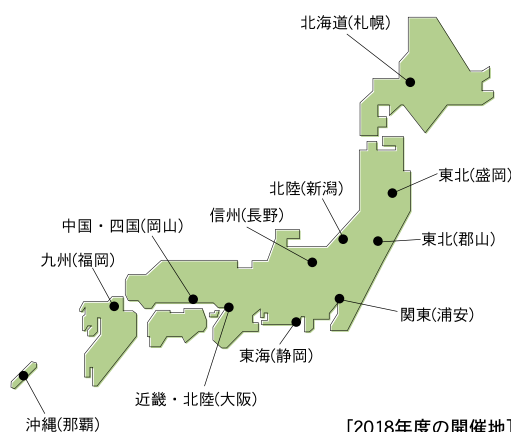
#### 〈主体事業〉

##### ▶ 教育後援会だより『潮風』の発行

大学や就職の情報・状況、教育後援会の活動等を伝える広報紙『潮風』を年2回（7月・1月）発行。役員会に「潮風」編集委員会を置いて企画、編集に当たっています。

##### ▶ 地区教育懇談会の開催

地区教育懇談会では、保護者が学長や役職者、各学部の教授から、大学の近況、就職や就職活動の情報を直接聞くことができます。全体会のあとの個別面談では、本人の学修（単位履修）状況をふまえたうえで、学部・学科の先生方と直接話を交わすこともできます。他に就職相談コーナー、留学相談コーナー、学生支援相談コーナー等もあり、相談に応じています。



【2018年度の開催地】



##### ▶ 就職懇談会の実施

浦安キャンパスで開催される就職懇談会は、明海大学の就職についての取り組みやサポート体制の説明、外部講師による講演会、就職内定者によるパネルディスカッション等により、保護者に向けて就職についてさまざまな面から最新情報を提供する場となっています。



##### ▶ 教育後援会奨学金の貸与

在学生のうち、経済的理由により修学困難と認められる者に対して授業料納付額の一部を貸与する制度。希望学生は、前学期、後学期の学費納入期前に、教育後援会事務局に申請書等を提出し、委員会等で審査を受けます。奨学金返還は、卒業後半年経過した後に指定金融機関へ振り込むことになります。

## ▶教育後援会学生表彰

浦安キャンパスに在学する学生を対象に、課外活動において顕著な成果を収めた個人・団体やその活動の振興に功績が認められる個人・団体を表彰しています。



## ▶賃貸住宅の紹介

新入生や学部生の宿舎に関し、浦安市内の宅建協会と協力して情報提供を行っています。

## 〈学生の自主的諸活動支援〉

### ▶課外活動への援助

学生生活の向上に寄与するため、各種委員会・部・同好会・サークルなどの公認課外活動団体に対し、物品や部活動運営費・大会出場経費などの補助を行っています。



### ▶明海祭への援助

毎年11月3日「文化の日」前後に開催される「明海祭」に対し、共催・参加協力・援助を行っています。この学園祭は、大学を広く一般市民へ公開・開放しており、近隣住民との交流や地域との連携を図るよき場となっています。



### ▶学友会サマーキャンプへの参加・援助

毎年夏季休暇期間内に1泊2日の日程で学友会が企画しているサマーキャンプに、教育後援会役員代表が参加すると共に、実施経費の一部を補助しています。

このサマーキャンプには、学生、大学教職員、教育後援会役員代表など約200名の参加があります。全体会のほか、分科会では複数のテーマを設けて大学の更なる発展に向けて熱心に協議しています。



▶いくつかの分科会に分かれ  
学生と教職員が議論をかわす



### ▶長期留学及び短期海外研修への援助

海外協定校への私費長期留学及び夏季休暇中の短期海外研修に対し、援助金を支給し学生の負担軽減を図っています。



### ▶卒業パーティー

学位記授与式当日に行う浦安キャンパス卒業パーティーの運営経費等の援助を行っています。



### ▶卒業アルバムの贈呈

3・9月に行われる学位記授与式に、卒業のお祝いとして学生時代の思い出となる「卒業アルバム」を全卒業生に贈呈しています。



### ▶厚生施設の利用補助

部活動、サークル活動等の合宿や、学生およびその家族(血族・二親等)の旅行などに利用できる厚生施設として一般施設と使用締結し、その利用補助を行っています。

#### ■ 厚生施設

- (1) ホテルアルパイン (新潟県)
- (2) ガーデンクレス (新潟県)
- (3) リソル生命の森 (千葉県)
- (4) ホテル東天光 (千葉県)



(1) ホテルアルパイン



(2) ガーデンクレス



(3) リソル生命の森



(4) ホテル東天光

## 〈大学の実施事業支援〉

### ▶就職対策への援助

学生の就職対策として、大学が種々実施しているガイダンス、就職適性検査、就職講座、学内企業セミナーを支援しています。

### ▶学生食堂への援助

学生の健康のため、学生食堂で低価格で牛乳やサラダなどを提供できるよう、補助を行っています。



## ● 事業の変遷

事業		年度	1988年 昭和63年	1989年 平成1年	1990年 平成2年	1991年 平成3年	1992年 平成4年	1993年 平成5年	
教育後援会 事務長			—	—	—	—	—	安宅武男	
教育後援会の主体的事業	評議員会		父兄会	//	//	//	//	第1回	
	役員会		6回	//	//	//	//	//	
	地区教育懇談会	関東地区(2・4年次)		—	—	—	—	—	—
		北海道地区		—	—	—	—	—	—
		東北B地区(東北地区 盛岡市)		—	—	—	—	—	—
		北陸地区		—	—	—	—	—	—
		東北A地区		—	—	—	—	—	—
		信州地区		—	—	—	—	—	—
		東海地区		—	—	—	—	—	—
		近畿・北陸地区		—	—	—	—	—	—
		九州地区		—	—	—	—	—	—
		中国・四国地区		—	—	—	—	—	—
		沖縄地区		—	—	—	—	—	—
	関東地区(1・3年次)		—	—	—	—	—	—	
	就職対策懇談会		—	—	—	—	—	—	
	広報紙発刊	後援会だより・「潮風」		—	—	—	—	—	—
		新春対談会テーマ		—	—	—	—	—	—
	教育後援会奨学金		—	—	—	—	—	—	
	借上ベイグラunde・住宅相談・紹介		—	—	—	—	—	借上契約	
	卒業記念品贈呈		—	—	—	防水腕時計	//	//	
	卒業アルバム購入・贈呈		—	—	—	注文購入	//	//	
	国内外の大学施設等視察		—	—	—	—	—	—	
	教育後援会ホームページ		—	—	—	—	—	—	
学生表彰式(表彰者数)		—	—	—	—	—	—		
学生の主体的諸活動支援	課外活動団体数		51	56	69	70	72	82	
	白亜祭・学園祭・明海祭		白亜祭1回	// 2回	// 3回	学園祭4回	明海祭// 5回	// 6回	
	サマーセッション・サマーキャンプ・リーダーズ研修会		—	—	—	—	—	リーダーズ研修会	
	新入生歓迎会		—	—	—	—	—	—	
	契約厚生施設利用者数		—	—	—	—	—	512	
	契約厚生施設視察		—	—	—	—	—	—	
	スキー・スノーキャンプ開催		—	—	—	—	—	—	
謝恩会・卒業パーティー		—	—	—	謝恩会	//	//		
大学事業への支援	長短期学生海外留学研修派遣総数		—	—	72人	83人	87人	95人	
	就職対策(就職率)		—	—	—	—	—	86.2%	
	少人数教育援助クラス数		—	—	—	—	—	—	
	課外活動指導者援助数		—	—	—	—	—	—	
	体育会活動部数		—	—	—	—	—	—	
	ピアサポートセミナー会場・参加人数		—	—	—	—	—	—	
	施設・備品等の寄贈					吹奏楽部 演奏楽器	吹奏楽部 コスチューム ホールクロック	学内ベンチ	
教育後援会 トピックス		明海大学浦安キャンパス「父兄会」発足10/26							
キャンパス	設置・設備等		浦安市に2学部を設置し大学名を明海大学とする		創立20周年 教職課程を設置(外国)	別科日本語研修課程を設置	不動産学部を設置	講義等増設 オープンカレッジを開設	
	入学生数(留学生数)		546名(8)	507名(32)	1,004名(44)	1,156名(101)	1,615名(125)	1,630名(160)	
	学位記授与式		—	—	—	第1期生	第2期生	第3期生	
	卒業生		—	—	—	676名	704名	849名	

1994年 平成6年	1995年 平成7年	1996年 平成8年	1997年 平成9年	1998年 平成10年	1999年 平成11年	2000年 平成12年	2001年 平成13年	2002年 平成14年
—	—	渡邊省吾	〃	〃	〃	〃	福山武夫	〃
第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
—	—	浦安市	浦安市	浦安市	浦安市	浦安市	浦安市 (181名)	浦安市 (192名)
—	—	—	—	—	—	—	—	—
福島市	郡山市	郡山市	福島市	福島市	福島市	福島市	福島市 (56名)	福島市 (34名)
—	新潟市	新潟市	新潟市	新潟市	新潟市	新潟市	新潟市 (49名)	新潟市 (40名)
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	静岡市	静岡市	静岡市	静岡市	静岡市	静岡市 (32名)	清水市 (35名)
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
①～③号	④号・5号	6号・7号	8号・9号	10号・11号	12号・13号	14号・15号	16号・17号	18号・19号
—	21世紀の国際化・ 情報化社会へ向 けて	21世紀への展望 —魅力ある大学を 	国際化、情報化 社会に対応でき る大学	—	21世紀へはばた く明海大学	21世紀に飛する 明海大学	国際交流の進む 明海大学	これからの国際 社会に対応する には
新制度3人	12人	17人	36人	38人	31人	74人	97人	61人
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	オリジナル腕時計	〃	〃
—	—	アメリカ	—	中国	—	ニュージーランド	—	韓国
朝日大視察	歯学部視察	—	—	—	—	〃	立命館大学 草津C視察 (17名参加)	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
88	102	102	103	88	86	68	59	71
〃7回	〃8回	〃9回	〃10回	〃11回	〃12回	〃13回	〃14回	〃15回
サマーセッション リーダーズ研修会	リーダーズ研修会	サマーセッション リーダーズ研修会	サマーセッション リーダーズ研修会	リーダーズ研修会	サマーセッション リーダーズ研修会	リーダーズ研修会	サマーキャンプ 茨城県潮来市	〃 福島県いわき市
昼食(サンド イッチ・お茶)	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
144	712	958	1,023	759	618	725	794	826
—	アルパイン	—	—	—	—	アルパイン	アルパイン	生命の森リゾート
第1回開催	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
〃	〃	卒業記念パーティー	〃	卒業パーティー	〃	〃	〃1000名	〃1160名
50人	57人	130人	123人	126人	169人	167人	179人	279人
80.4%	84.2%	90.9%	92.7%	89.4%	81.9%	86.4%	83.9%	82.5%
—	—	—	—	—	—	—	—	45
—	—	—	—	—	—	—	2名	5名
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
明海祭スタッフ ジャンパー クラブハウス修繕	トレーニング 器具	共同研究室 印刷機一式	キャノン複写機 空気清浄機 ファイルセンター	バーコーダーベン チ、ビデオ160巻、 パソコン4、サクラ3	ターンテーブル 10脚	—	木製ベンチ7台	野外卓10台
同窓会・後援会 懇親会、OB会と の懇談会	歯学部父兄会と 合同懇親会	—	—	教育後援会10周 年記念感謝の会 11/1	—	—	—	教育後援会 会費改定
—	—	—	—	大学院3研究科 修士課程を設置	トレーニングセン ター、クラブハウス、 グラウンド完成	創立30周年式 典新図書館完成、 テニスコート増設	—	図書館市民開放 事業締結
1,601名(182)	1,686名(291)	1,714名(336)	1,698名(374)	1,793名(411)	1,710名(463)	1,699名(486)	1,666名(526)	1,651名(645)
第4期生	第5期生	第6期生	第7期生	第8期生	第9期生	第10期生	第11期生	第12期生
964名	1,366名	1,321名	1,342名	1,368名	1,365名	1,382名	1,466名	1,367名

事業		年度	2003年 平成15年	2004年 平成16年	2005年 平成17年	2006年 平成18年	2007年 平成19年	2008年 平成20年	
教育後援会 事務長			福山武夫	//	//	//	//	//	
教育後援会の主体的事業	評議員会		第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	
	役員会		6回	//	//	//	//	//	
	地区教育懇談会	関東地区(2・4年次)		浦安市(150名)	浦安市(169名)	浦安市(182名)	浦安市(111名)	浦安市(157名)	浦安市(129名)
		北海道地区		-	-	-	-	-	-
		東北B地区		福島市(39名)	福島市(37名)	福島市(30名)	福島市(26名)	福島市(38名)	福島市(25名)
		北陸地区		新潟市(37名)	新潟市(29名)	新潟市(40名)	新潟市(20名)	新潟市(17名)	新潟市(20名)
		東北A地区		盛岡市(21名)	盛岡市(23名)	盛岡市(26名)	盛岡市(18名)	盛岡市(28名)	盛岡市(30名)
		信州地区		-	-	-	-	長野市(17名)	松本市(13名)
		東海地区		静岡市(27名)	静岡市(26名)	静岡市(25名)	静岡市(18名)	静岡市(31名)	静岡市(24名)
		近畿・北陸地区		-	-	-	-	-	-
		九州地区		-	-	-	福岡市(27名)	福岡市(22名)	福岡市(17名)
		中国・四国地区		-	-	-	-	-	-
		沖縄地区		-	-	-	-	-	-
	関東地区(1・3年次)		-	-	-	-	-	-	
	就職対策懇談会		初開催(130名)	浦安市(191名)	浦安市(201名)	浦安市(188名)	浦安市(183名)	浦安市(222名)	
	広報紙発刊	後援会だより・「潮風」		20号・21号	22号・23号	24号・25号	26号・27号	28号・29号	30号・31号
		新春対談会テーマ		これからの明海大学を語る	明海大学の新しい歩み	選ばれる大学を目指して	明海大学の部活動を活発にするには	明海大学のサークル・部活動を活発に	各学部の現状と今後の展望を語る
	教育後援会奨学金		89人	68人	39人	31人	22人	24人	
	借上ベイグランド・住宅相談・紹介		催上げ集合住宅契約期間満了	-	-	-	-	-	
	卒業記念品贈呈		オリジナル腕時計	//	//	//	//	//	
卒業アルバム購入・贈呈		贈呈	//	//	贈呈動画	//	//		
国内外の大学施設等視察			-	アメリカ	-	イギリス	-	オーストラリア	
			立命館アジア太平洋大学視察(12名参加)	-	金沢工業大学視察(10名参加)	-	中京大学視察(11名参加)	-	
教育後援会ホームページ		後援会HP開設	//	//	//	//	//		
学生表彰式(表彰者数)		学生表彰式開催(24名)	//(35名)	//(25名)	//(28名)	//(28名)	//(25名)		
学生の主体的諸活動支援	課外活動団体数		78	79	75	62	62	62	
	白垂祭・学園祭・明海祭		//16回	//17回	//18回	//19回	//20回	//21回	
	サマーセッション・サマーキャンプ		サマーキャンプ 群馬県水上市	// 栃木県日光市	// 静岡県下田市	// 群馬県水上市	// 栃木県日光市	// 栃木県日光市	
	新入生歓迎会		昼食(サンドイッチ・お茶)	//	//	//	//	//	
	契約厚生施設利用者数		987	1,076	551	405	460	500	
	契約厚生施設視察		つま恋	生命の森リゾート	アルパイン	生命の森リゾート	アルパイン	生命の森リゾート	
	スキー・スノーキャンプ開催		第10回記念	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	
謝恩会・卒業パーティー		卒業パーティー1000名	//1000名	//1000名	//	//	//800名		
大学事業への支援	長短期学生海外留学研修派遣総数		261人	313人	306人	271人	271人	99人	
	就職対策(就職率)		79.3%	81.8%	91.2%	87.5%	90.2%	89.3%	
	少人数教育援助クラス数		61	72	37	59	74	46	
	課外活動指導者援助数		9名	4名	9名	8名	7名	14名	
	体育会活動部数		-	-	-	体育会3(発足)	3	3	
	ピアサポートセミナー会場・参加人数		森林公園 25名	鬼怒川 28名	塩原 33名	箱根 31名	勝浦 10名	勝浦 13名	
	施設・備品等の寄贈		学食ショーケース	得点版、マット ゴールネット スクラムマシン	救急担架 ヨット部品	講演台	学食 TV・DVD	野外ステージ ジャカラнда	
教育後援会 トピックス				同窓会・後援会懇談会	同窓会15周年記念式典・祝賀パーティー11/3	同窓会・後援会懇談会3/8	教育後援会創立20周年記念祝賀会5/31		
キャンパス	設置・設備等				ホスピタリティ・ツーリズム学部設置、PDI浦安開設	グラウンド人工芝、グラウンド整備、勝浦セミナーハウス	テニスコート バスケットコート	校舎整備 校庭整備	
	入学生数(留学生数)		1,566名(714)	1,398名(733)	1,344名(738)	1,276名(668)	1,293名(617)	1,273名(163)	
	学位記授与式		第13期生	第14期生	第15期生	第16期生	第17期生	第18期生	
	卒業生		1,360名	1,335名	1,343名	1,293名	1,203名	1,045名	



2009年 平成21年	2010年 平成22年	2011年 平成23年	2012年 平成24年	2013年 平成25年	2014年 平成26年	2015年 平成27年	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年
吉田 直孝	〃	〃	〃	秋山 敏夫	〃	〃	〃	〃	桐原公夫
第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	
5回	6回	〃	〃	〃	〃	〃	5回	〃	
82	90	103	131	157	187	133	180	156	
—	11	6	6	5	9	8	12	7	
31	31	33	28	30	25	37	25	23	
28	32	27	21	20	28	27	26	40	
27	36	20	24	29	15	24	20	18	
22	21	7	14	14	13	12	11	12	
28	23	25	20	28	24	29	25	28	
—	—	9	9	17	19	18	21	11	
18	17	19	19	17	20	19	21	17	
-	10	10	7	9	9	8	5	13	
-	-	11	11	12	4	6	9	10	
-	-	-	-	196	153	184	196	204	
浦安市(367名)	浦安市(282名)	浦安市(241名)	浦安市(252名)	浦安市(295名)	浦安市(206名)	浦安市(277名)	浦安市(241名)	浦安市(202名)	浦安市( 名)
32号・33号	34号・35号	36号・37号	38号・39号	40号・41号	42号・43号	44号・45号	46号・47号	48号・49号	
浦安キャンパスの現状と今後を語る	気になる就職、大学支援について	体育会の現状と今後の展望を語る	明海大学縁の下の力持ち、学生会活動から見えてくる明海大学の「今」	社会変化に応えられる大学をめざして—明海大学の新しい歩み	過去、現在を踏まえた明海大学の未来とは	子どもを親と大学が共同で支える—就活最前線—	学生にとって、さらに魅力ある学科にするための取り組みとは	体育会の現状と今後の展望	
24人	17人	7人	7人	5人	6人	5人	0人	0人	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
—	—	台湾	—	—	—	—	—	—	—
東洋大学 (15名参加)	—	—	大正大学 (18名参加)	朝日大学 (13名参加)	東北学院 (12名参加)	神田外語大学 (14名参加)	—	—	—
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃(20名)	〃(23名・2団体)	〃(32名)	〃(32名)	〃(39名・2団体)	〃(25名・2団体)	〃(38名・3団体)	〃(31名・4団体)	〃(37名・1団体)	
60	62	58	53	59	54	54	60	46	
〃22回	〃23回	〃24回	〃25回	〃26回	〃27回	〃28回	〃29回	〃30回	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
栃木県日光市	群馬県安中市	群馬県利根郡	群馬県利根郡	千葉県鴨川市	千葉県鴨川市	群馬県みなかみ町	千葉県鴨川市	山梨県笛吹市	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
800	780	731	742	655	503	444	448	402	
勝浦コテージ	アルパイン	生命の森リゾート	勝浦コテージ	ホテル東天光	アルパイン	生命の森リゾート	ヤマリゾートつま恋	ホテル東天光	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
850名	—*	850名	850名	600名	650名	600名	500名	400名	
161人	97人	157人	151人	161人	84人	74人	68人	38人	
78.4%	80.1%	77.6%	81.8%	83.8%	87.2%	90.9%	94.4%	95.8%	
69	57	67	76	72	64	68	43	23	
26	23	14	18	15	13	13	9	7	
3	3	3	4	4	4	4	4	5	
勝浦31名	勝浦27名	勝浦18名	勝浦23名	勝浦24名	—	勝浦23名	—	—	
グランドピアノ、椅子、学生食堂に大型テレビ、インシュレーター、除湿器、ピアノ運搬台	学生食堂に大型テレビ、ジャズオーケストラ部ヘスピーカー		学生ホール改修に係る費用の一部を援助	学生ホール改修に係る費用の一部を援助					
				同窓会・後援会懇談会 3/7				同窓会25周年記念式典・祝賀パーティー 7/23	教育後援会創立30周年記念祝賀会 6/2
					ホスピタリティ・ツーリズム総合研究所を設置	複言語・複文化教育センターを設置、図書館にラーニングコモンズ設置	教職課程センターを設置	エムパックを設置	メッツコモンズを設置
1,262名(159)	1,251名(184)	1,213名(232)	1,086名(230)	1,079名(149)	898名(155)	871名(128)	750名(145)	806名(127)	1,013名(177)
第19期生	第20期生	第21期生	第22期生	第23期生	第24期生	第25期生	第26期生	第27期生	
1,029名	1,060名	966名	901名	930名	918名	849名	858名	678名	

※ 2010年度は東日本大震災のため卒業パーティーは中止

これまでも、これからも

# 大学と学生への 支援を続けます

教育後援会 寄贈品ピックアップ

## バーコーダーベンチ (1998年)



グラウンド使用時、休憩場所やミーティングスペースになったり、荷物置き場になったりと大活躍。

## 木製ベンチ&テーブル (2001・2002年)

緑の多いキャンパスにマッチする木製のベンチとテーブル。



## 学食ショーケース (2003年)

「今日は何にしようかな」とあれこれ悩む時間が、学食をよりおいしいものに…。



## 屋外ステージ (2008年)

20周年記念事業の記念品として造設。明海祭では、ダンスや演奏を披露するなど学生たちの課外活動の発表の場となっている。



教育後援会では、大学の環境整備や学生生活の充実に向けた支援として、これまで様々な施設や備品を寄贈してきました。その一部を紹介します。

## ジャカラнда

(2008年)

日本の桐の花に似ていることから、別名「キリモドキ」といわれているジャカラнда。地域の人も楽しみにしており、開花の時期(6月ごろ)に大学に問い合わせがくることもあるという。



## 学生食堂の大型テレビ (2010年)



学生食堂「マリーンズ」に大型テレビ3台を寄贈。学生の休憩時間に彩を添えている。

## 学生ホール改修 (2012・2013年)

※費用の一部を援助

カフェのようなスペースは、休憩時間などに学生たちでにぎわう。カウンター席とパーティションで仕切られたテーブル席がある。プラグやWi-Fiも整っているからタブレットやスマホの利用に最適。



▲ノース学生ホール

# 保護者アンケート

## 未来の明海大学を考える

教育後援会30周年の節目を迎えるにあたり、前回20周年時になって、会員である保護者の皆さまにアンケートのご協力をお願いしました。設問は前回アンケートを基本に、社会の変化等を加味し、設定しました。10年の年月がアンケート結果に表れているのではと思います。

会員の皆さまからの忌憚のないご意見は、明海大学のさらなる発展と今後の教育後援会の事業の大きな指針として役立てていきたいと思っています。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。



地区教育懇談会



明海祭



サマーキャンプ

### ◇調査対象

教育後援会会員 2501人(留学生・住所不明を除く)

### ◇調査方法

2018年1月発行『潮風』49号に返信用封筒とともに同封し、メール便で発送/郵送回収

### ◇調査期間

2018年1月31日～2月16日

### ◇有効回答数(率)

465人(約19%)

※20周年時アンケートでは…  
会員数約4460人、回収数1076人(約24%)

※パーセンテージの数値は、回答数(N)を100%として計算。四捨五入しているため、比率の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の場合、回答の合計が100%を超えることがあります。

### (調査回答者の内訳)

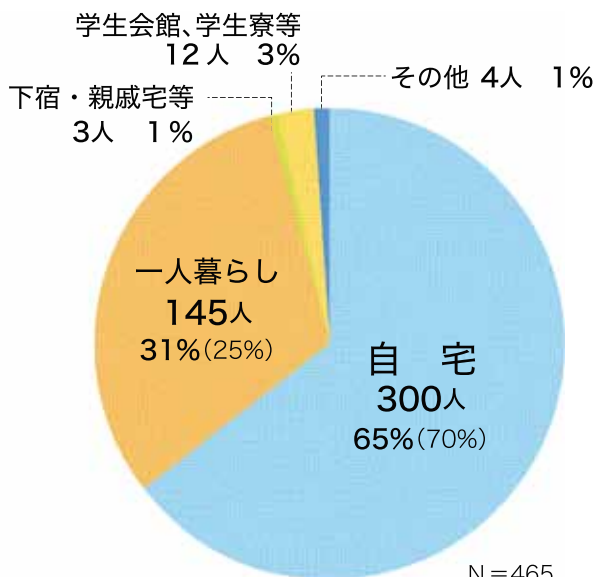
( )内は2008年

学 科	有効回答数	有効回答率
日本語学科	31	18(26)%
英米語学科	84	17(25)%
中国語学科	12	15(23)%
経済学科	98	15(19)%
不動産学科	80	19(23)%
ホスピタリティ・ツーリズム学科	155	23(38)%
回答なし	5	

学 年	有効回答数	有効回答率
1年	130	19(28)%
2年	100	16(25)%
3年	111	19(21)%
4年	81	13(15)%
回答なし	43	

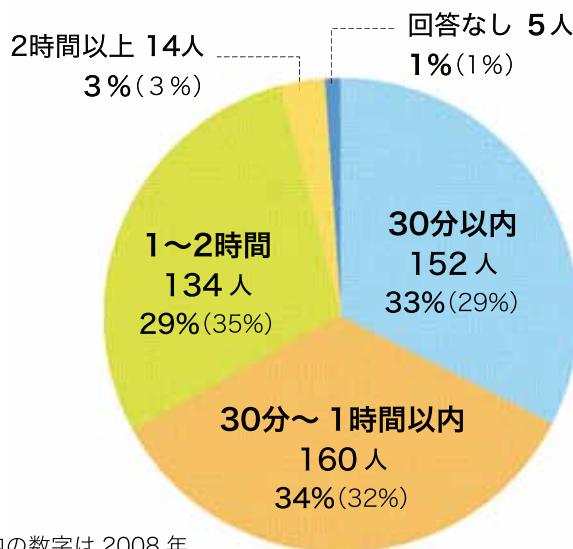
## 〈保護者アンケート集計結果〉

Q. 大学へ通学するための居住形態を教えてください。(学生本人)



自宅から通学している学生は、10年前の70%から65%に減り、一人暮らしが25%から31%に増えています。学生会館、学生寮なども増え、下宿・親戚宅などが減っています。1人で暮らす学生が多くなっているようです。

Q. 大学へ通学するための片道時間はどのぐらいかかりますか。



1時間以内が61%から67%に増えています。残りの30%強が片道1時間以上かけて通っているようですが、10年前に比べて1～2時間かかる人は減っています。

あまり遠くないところで一人暮らしという学生が増えているようです。

Q. 明海大学に入学した動機・きっかけを教えてください。(複数選択)

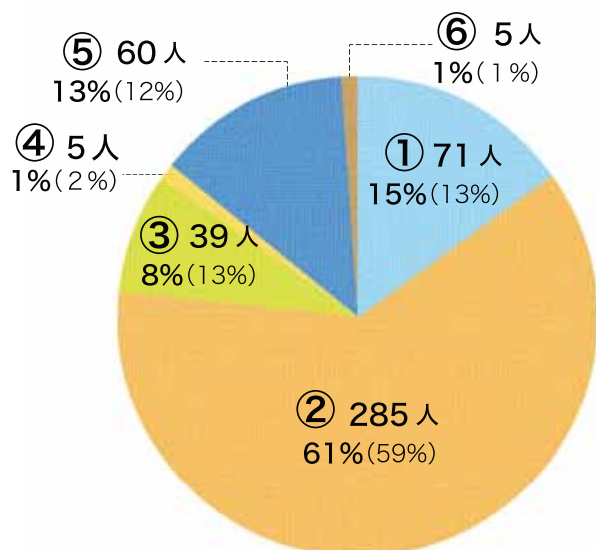


前回同様、「関心のある学部・学科」がずば抜けています。

「オープンキャンパスの印象がよかった」が前回20%から26%で2位(前回は4位)に。清潔できれいなキャンパス、学修環境が整った施設など、実際に構内を見て魅力を感じていただけたようです。

「大学の就職支援・就職率が良い」は前回選択肢としてなかったものですが、6位でした。ホスピタリティ・ツーリズム学科の就職率が4年連続100%達成など、大学の就職への取り組みが評価されたようです。

## Q. 明海大学における学生生活に対する満足度はいかがですか。



N=465 ( )内の数字は2008年

- ① 大変満足しているようである
- ② ほぼ満足しているようである
- ③ やや不満のようである
- ④ 大変不満のようである
- ⑤ よくわからない
- ⑥ 回答なし

全体の76%が「ほぼ満足」「大変満足」と回答、10年前より増えています。「やや不満」「大変不満」は15%から9%に減少しており、大学生活が前回より充実している学生が増加しています。

### 自由記述意見より

#### 「満足」回答者からー

- 先生が親身になって指導してくれる
- 先生にいろいろと相談できる
- 先生を信頼し充実した学生生活が過ごせている
- 先生方とのコミュニケーションがよくとれている
- 先生方との距離が近く、とてもよくしていただいている

など先生方に対する信頼の声が多数、また、

- 友人関係良好
- 少人数制が本人に合っている。高校時代より友達もでき楽しそう
- 友人もたくさんできて、助け合いながら楽しく過ごしている
- 仲の良い友人は授業も熱心に受けているので本人も意欲的

など友人に恵まれて大学生活を楽しむ様子を喜ぶ声が多数ありました。

- 就職支援が充実
- 目標としていた国家試験に合格できた
- 資格取得しやすい環境
- TOEICの成績向上

などの声も多く寄せられています。

- 進級条件が厳しいため、社会性をしっかりと身に付けられると思う

- 他の大学と違って実学を学べる

という声も。

そのほか

- ゼミ活動が充実している
- インターンシップなどにも参加できる
- キャンパスの環境、施設がよい
- キャンパスが明るい
- 大学の話をするとき、笑顔だ
- 明海祭活動やボランティアでお互いの意見がかわせる
- とても面倒見のよい学校だと思う。海外留学するため選んだので目標達成できることを願う

#### 「不満」回答者からー

- 学食が小さい
- 学食の味に不満
- 教室が寒かったり、空調が合わないよう。空調の調整(湿度)がうまくいっていない

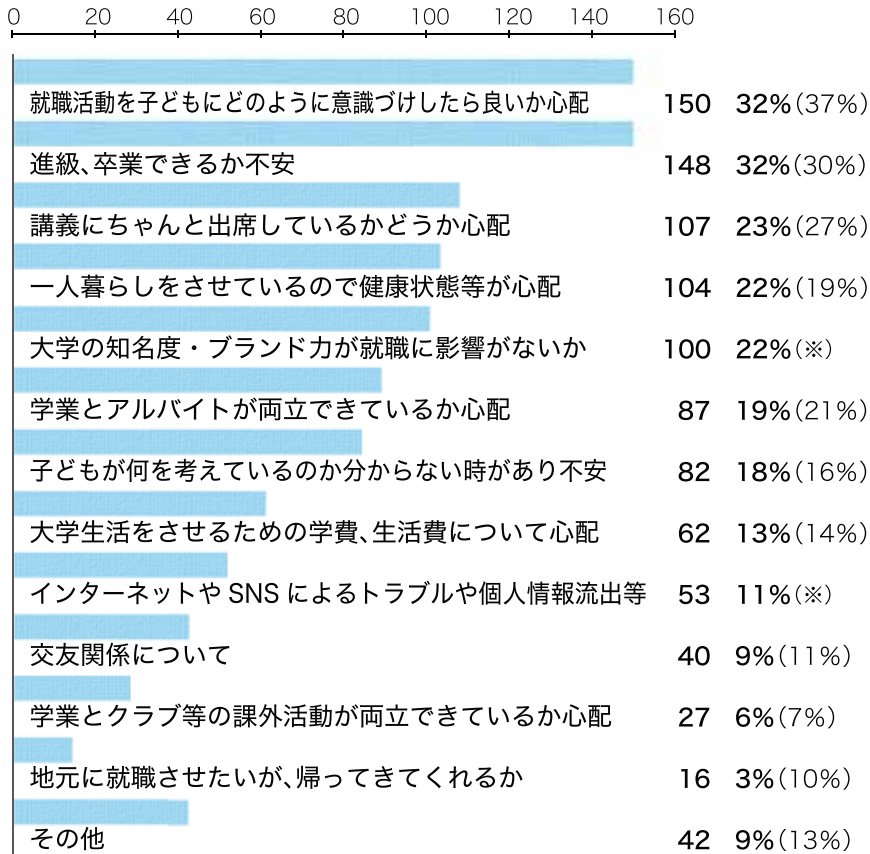
などの学食・設備面のほか、

- 選択科目が少なく必修科目が多い
- 講義内容が簡単
- 大学の知名度の向上を期待する

という声が寄せられています。

## Q. 日頃どのような不安や心配をおもちでしょうか。(複数選択)

N=465 ( )内の数字は2008年



※新規設問

「就職活動の意識づけ」と「進級・卒業できるか」がほぼ同数でした。「講義にちゃんと出席しているか」、「一人暮らしの日常・健康状態」、「大学の知名度・ブランド力による就職への影響」がほぼ同数で続き、学業、就職に保護者の関心が高いことが分かります。その他には「特に心配なし」が多くありました。

新たな設問「インターネット・SNSによるトラブル」は11%でした。

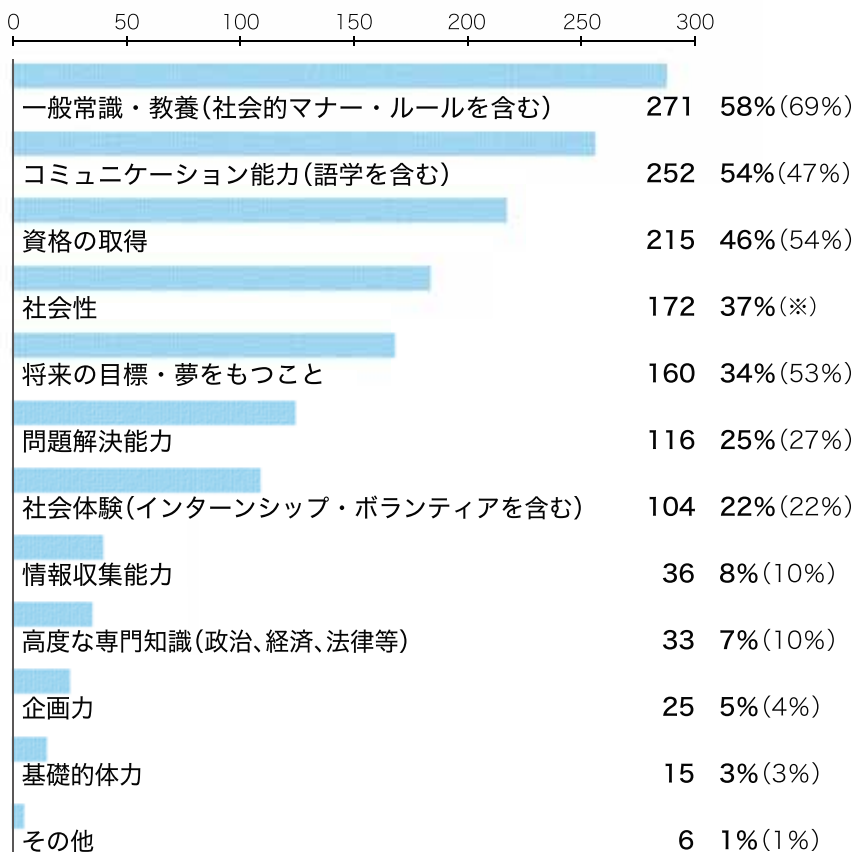
### ■ 自由記述意見より ■

- 希望の企業に就職できるか
- 就職先が見つかるか、不安である
- きちんとした目標をもっているのか
- 身の丈志向過ぎていないか、もう少し高い夢を

という声がありました。

## Q. 特に在学中に身につけてほしいことは何ですか。(3つ選択)

N=465 ( )内の数字は2008年



※新規設問

「一般常識・教養」は前回も1位でしたが、69%から58%と減少。「コミュニケーション能力」が前回4位から2位に。一朝一夕では身に付けられないものだけに、社会に出たときに困らないようにと望んでいるようです。

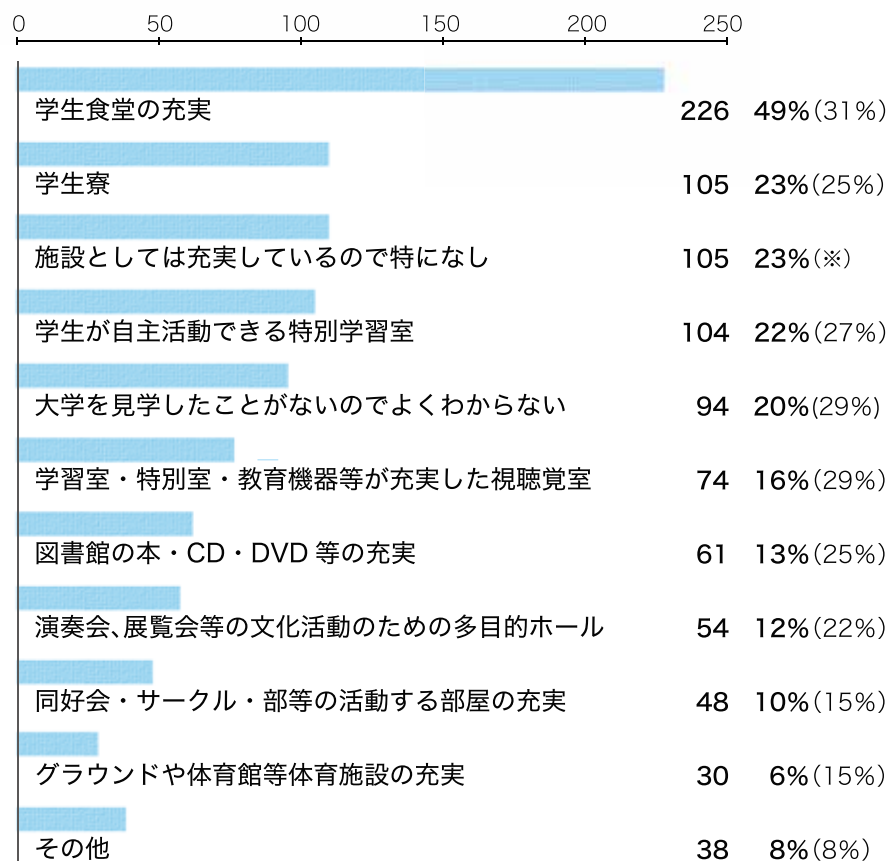
新しい設問「社会性」も4位、40%近くの人が選択しています。

### ■ 自由記述意見より ■

- 夢や希望を具現化して現実にしていく考え方
- 自信
- 金銭感覚

というわが子を思う具体的な声もありました。

## Q. 施設や設備面で明海大学に必要とされるものは何でしょうか。(3つ選択)



N=465 ( )内の数字は2008年

学生食堂が断トツの1位、前回31%から49%に。保護者としては食事面、食生活が気になるようです。前回6位だった学生寮が2位に。視聴覚室、図書・DVD、多目的ホール、体育施設は大きく減っています。また今回選択肢に追加した「施設として充実しているので特になし」が同率2位でした。

この10年で施設が充実したことが伺われます。

※新規設問

### 自由記述意見より

学食について、

- 食事時間に集中して行列ができる
- 狭いので入れない。メニューが少ない
- 野菜不足の人が多くと思うので、低料金で野菜が豊富なメニューを出してもらえたら、学食を食べるのでは
- 添加物のない味の良い健康的なものを作ってほしい
- 学食だけでなくcafeなどがあるとよい

など多くの声があり、子どもの食生活を心配しています。

空調について、

- 冷暖房の温度調節。特に冷房は寒すぎて体調不良を起こすので、各教室で調整できるように

災害時の対応については、

- 災害時等、帰宅困難時の対応（学食等、休む場所の開放など）
- 地震など災害への対応の強化

そのほか、個人ロッカー（無料）、ウォーターサーバー、自販機の要望がありました。

また、スマートフォンの急速な普及を反映して、Wi-Fiの充実などを求める声もありました。



サマーキャンプ分科会



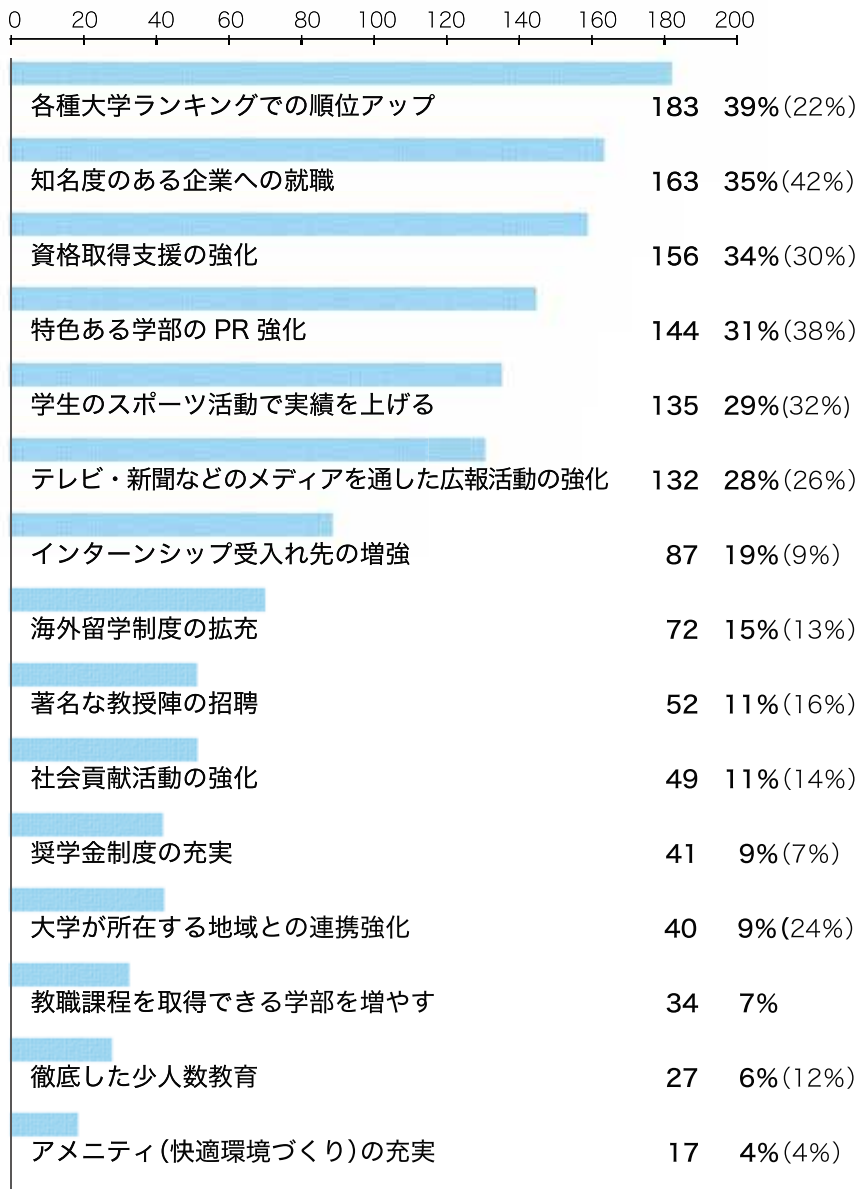
明海祭ステージパフォーマンス



地区教育懇談会個別面談

## Q. 明海大学の知名度をアップさせるポイントは何でしょうか。(3つ選択)

N=465 ( )内の数字は2008年



全体の約40%が「大学ランキングでの順位アップ」を挙げ、前回7位から1位に。続く「知名度のある企業への就職」は、ブランド力の高い企業に学生を多く輩出することが、知名度アップにつながると考えている方が多いようです。

全体の30%以上が「資格取得支援の強化」「特色ある学部のPR」を挙げています。資格取得については一定の評価がある一方、より充実を図る声も上がっています。

次に「スポーツ活動で実績を上げる」「メディアを通じた広報活動の強化」を約30%の人が選択しています。学生スポーツの成績・実績を上げること、また、スポーツでメディアへの露出を図るという意味で、箱根駅伝やオリンピック出場という意見が多くありました。

「メディアを通じた広報活動の強化」については、教授陣のメディア登壇や、著名な卒業生からの情報発信などの声。特に他県に住む保護者からは、「名前を知らなかった」、「名前が聞こえてこない」という声があり、要望が高いと考えられます。

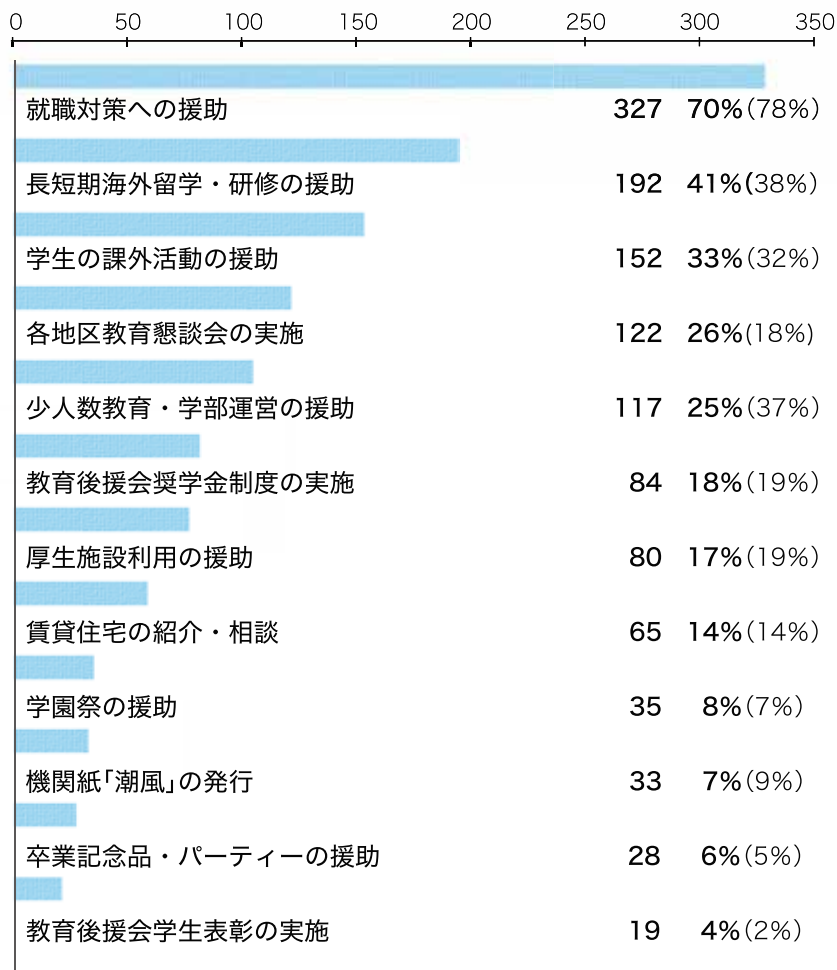
### 自由記述意見より

- 地方の高校へのPR強化
  - 特色のある大学なのにあまり知られていない。関西方面でも周知されるようにすべき
  - 教授と個別面談ができる貴重な取り組み、キャリアサポートセンターの充実した内容、親身な授業等、『学生に手厚い』点をポイントにしては？
  - メディアを通せば意図的に知名度は上がるかもしれないが、必ずしもイメージアップに繋がるとは…。特色のある学部をすでに知っている人もいて、就職先での実績を上げれば知名度が上がり、明海大学の良さを知らせてもらえると思う
  - 就職率の高さは有名だが、在学中の活動、特に学生主体で何かをする—というものが活発に行われると、学生にも活気がでて、明海大生の輝きが知名度アップにつながる
  - お金をかけたうわべだけの知名度アップには賛成できない。学生一人ひとりのレベルアップが大学全体の質を上げ、知名度アップにつながる
  - 学びたいことがあって入学したので知名度は関係ない
  - 知名度にはこだわっておらず、通っている学生が自覚と自信のある行動をとっていれば社会から認められるはず
- といった様々な意見がありました。また、
- と、大学の強み、学生の確固たる意識があれば、知名度を必要としないという声も寄せられました。



## Q. 教育後援会の支援活動の中で今後も力を入れてほしいことはどれでしょうか。(3つ選択)

N=465 ( )内の数字は2008年



全体の70%が「就職対策への援助」を挙げ、保護者の最大の関心事であることが伺えます。

続いて、40%以上が「長短期海外留学・研修の援助」、30%以上が「学生の課外活動の援助」を望んでいます。前述の設問で、大学生生活に満足していると答えた方の中には「短期留学できるから」とする方も数人いました。課外活動については、「部活やサークル等の人とのつながり」、「部活で学生生活が明るくなり、協調・積極性が身に付いている」という声がある一方、「サークル活動が活発でない」という声も。

充実した学生生活を送るために、さらなる支援が求められているようです。

前回との比較では、「各地区教育懇談会の実施」が18%から26%に増えています。自由記述のコメントからも、参加した人はこの会の必要性を実感されているようです。

### ■ 自由記述意見より ■

- 海外経験を促進させる支援を
- 就職の状況がよいときも、大変なときも変わらず支援する姿勢を保つ活動を

といった声のほか、

- Facebook、TwitterなどSNSの利用で大学がもっと身近に感じられると思う
- 大学としての研究開発、商品開発等を含め、イノベーションに力を入れ、知名度を上げる活動を。企業との連携も必要なのでは

と、時流に即した活動を求める声もありました。そのほか、

- 大学と保護者との距離を縮めてくれる組織だと思うので、今後も頑張ってほしい。学生の素の意見をもっと知りたい

- いろいろな活動を通して保護者と大学をつなげていただき感謝している。大学の様子もよく分かり、自分の母校のように感じています

といった声もいただきました。

また、会報「潮風」の発行、地区教育懇談会については、活動を評価する声をたくさんいただき、




- 「潮風」で大学の様子を知ることができたので、卒業後も明海大学の近況を年1回でもいいので、送ってもらえれば…

という声もお寄せいただきました。

ご回答いただいた皆様、ありがとうございました。

# ●歴代役員・現役役員

※役員は4年次在籍者のみ  
※敬称略

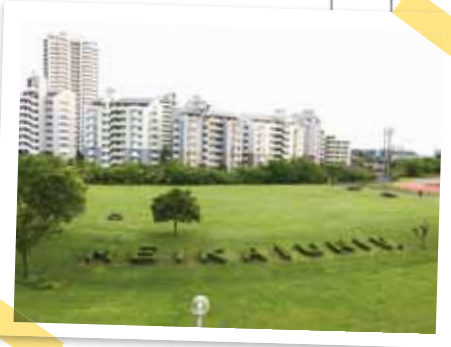
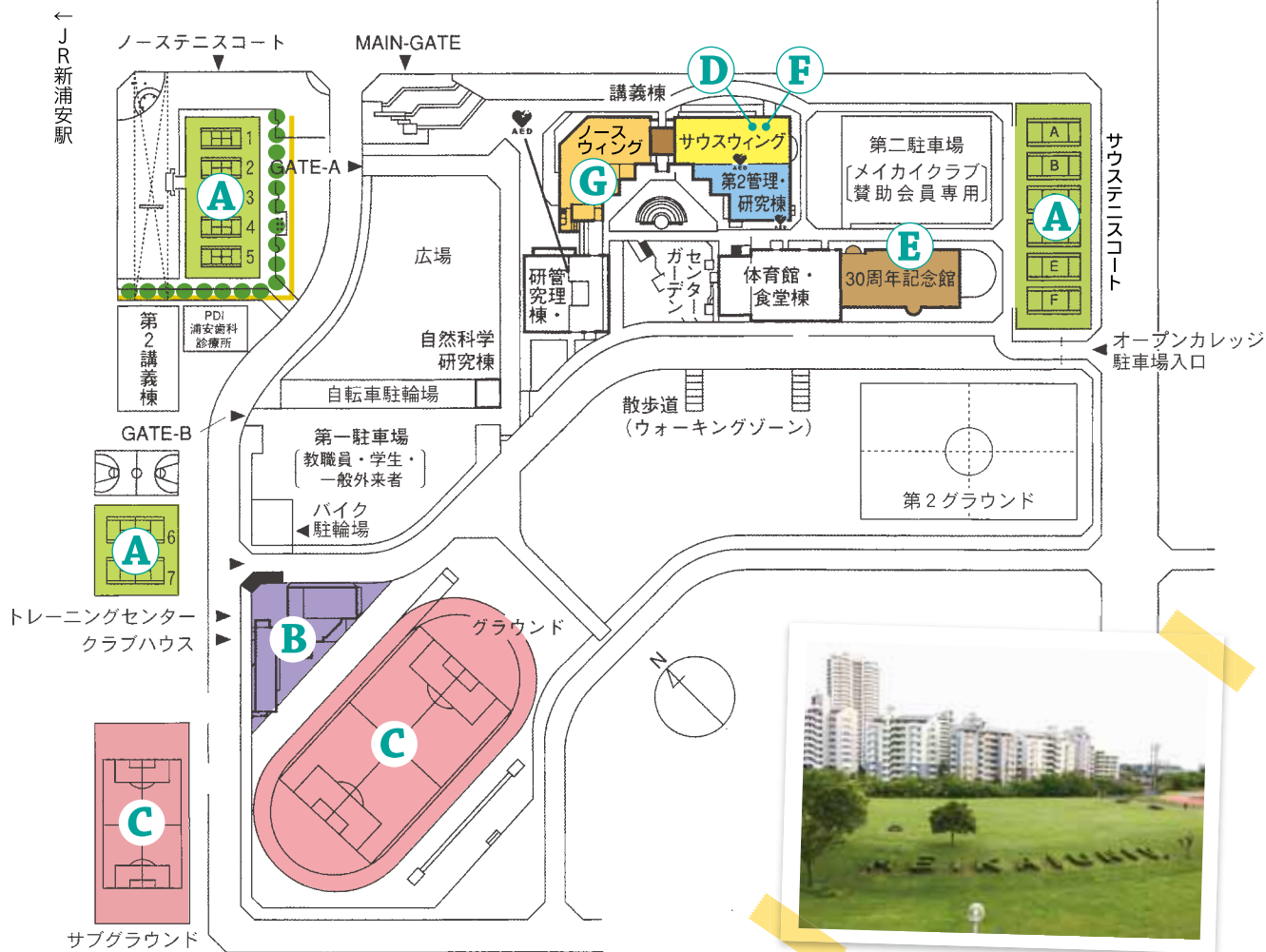
	1988(S63)年度	1989(H1)年度	1990(H2)年度	1991(H3)年度	1992(H4)年度	1993(H5)年度
理事長	宮田慶三郎	//	//	//	//	//
学長	多和 敏一	//	//	//	//	//
会長	初代会長 岡本 長吉 				2代会長 安宅 武男 	3代会長 黒田 学 
役員	池下 龍 小島 照信 大村 知義 田上 澄子				小椋 祐二 北澤 章男 久保田勝康 鳴嶋 幸次	三原 憲三 藤森 明 高梨 光枝 武林 信男

	1999(H11)年度	2000(H12)年度	2001(H13)年度	2002(H14)年度	2003(H15)年度
理事長	//	//	//	//	//
学長	高倉 翔	//	//	//	//
会長	7代会長 山岡 達哉 	8代会長 稲葉 光治 	9代会長 中田 俊一 	10代会長 山内 薫 	11代会長 大塚 博行 
役員	金子 秀行 松井 恵子 芝野日出男 佐藤 一生	木村 俊雄 泉沢千代子 峯村 庸子 大塚久美子	佐藤 啓 酒井 正幸 倉持 恒雄 長谷川洋子	矢野日出子 仲田建治郎 吾郷真知子 大石 澄子	溝口 正孝 石井 満枝 田中 治江 笠井 俊秀

	2009(H21)年度	2010(H22)年度	2011(H23)年度	2012(H24)年度	2013(H25)年度
理事長	//	//	//	//	//
学長	//	//	//	//	//
会長	17代会長 釘崎 徹 	18代会長 印南 彰雄 	19代会長 永井 通 	20代会長 藤井 慶三 	21代会長 松田 清志 
役員	谷口 恵子 木村 周一 栗本 真弓 三浦斗紀子	富田 美江 梅澤 澄江 秋元 茂樹 宮本 知子	戸澤 五月 金本 正和 吉澤真貴子 上村 美穂	大塚 政子 滝口 一美 熊澤 康弘 林田 裕子	本多 敏子 庄司 洋子 星 徳子 山田 慶子

<b>1994(H6)年度</b>	<b>1995(H7)年度</b>	<b>1996(H8)年度</b>	<b>1997(H9)年度</b>	<b>1998(H10)年度</b>
//	//	宮田 侑	//	//
大東百合子	//	//	//	//
4代会長 白石 雅章	5代会長 丹下 剛		6代会長 加藤 想士	
				
石井 紀男 松信 堯 五十嵐 蔵 柳下 典世	野田 雅子 原 幸子 柳田 雅子 中島 嶺子	大竹キ又子 内藤 征男 川口 一郎 小畑美恵子	小林由美子 鈴木 久子 山田由美子 軽部 節子 秦 誠三	新井 敏男 神嶋 博 若山 照夫 清藤 信雄
<b>2004(H16)年度</b>	<b>2005(H17)年度</b>	<b>2006(H18)年度</b>	<b>2007(H19)年度</b>	<b>2008(H20)年度</b>
//	//	//	//	//
//	//	//	//	安井 利一
12代会長 横濱 孝雄	13代会長 鈴木 陽夫	14代会長 篠原 康光	15代会長 谷 昭夫	16代会長 仲村 務
				
奥山 藤雄 伊藤 恵子 加藤真知子 岡崎 征朗	宇田川芳子 佐々木 守 醍醐紀美子 横山 容子	服部 重明 阿部美佐子 高崎真理子	東原 和男 荻野 優子 和泉 全子 綿屋美知世	藤井 辰巳 岡澤 崇行 近藤 弘子 富永マスエ
<b>2014(H26)年度</b>	<b>2015(H27)年度</b>	<b>2016(H28)年度</b>	<b>2017(H29)年度</b>	<b>2018(H30)年度</b>
宮田 淳	//	//	//	//
//	//	//	//	//
22代会長 塩谷 毅	23代会長 久村 充	24代会長 佐藤 恒久	25代会長 栗本 真弓	現会長 戸澤 五月
				
小林あゆみ 久家 和江 清水 俊行 降幡 光穂	堀籠 祥子 赤穂依鈴子 大塚 広美 瀧本みゆき	平尾 修 原田さゆり 浅古 直美	本多 輝明 鈴木千代子 山岡 麻子 村田 由実	渡邊 香 嵯峨 邦江 山田 文代 樋口 節子

# 写真で見る浦安キャンパス



## A 授業や部活動で利用

### テニスコート

キャンパス内には、「ノーステニスコート」と「サウステニスコート」がある。全天候型人工芝のコート9面と、ハードコート4面（サウステニスコートにあり）の計13のコートは、サークルや部活動など、予約すれば誰でも利用できる。



## C 最新的人工芝を使用

### グラウンド



## B 課外活動の中心的存在

### トレーニングセンター・クラブハウス

隣り合って建つトレーニングセンターとクラブハウスは1999年に完成。トレーニングセンターにはマルチルーム、トレーニングルームなどがある。クラブハウスには部室の他、シャワー室や乾燥室、ミーティングルームがある。



1999年に400mトラックに改修、2007年には全面人工芝が敷かれたグラウンド。サッカー部など体育系のクラブが使用している。また、各種目の公式試合の会場としても使用されている。



## 空から見たキャンパス

写真で見る浦安キャンパス

## D 心もからだもリフレッシュ

### メイカイクラブ

1993年に開設されたメイカイクラブは、トレーニングルーム、温水プール、マルチスタジオ、バスルームなどの施設が整ったフィットネスクラブ。学生は入館料100円で利用できるほか、一般市民にも開放している。



## E 約29万冊の蔵書を誇る

### 30周年記念館 (スチューデントホール・図書館)

2001年に明海大学創立30周年を記念して建てられた。1階はスチューデントホールと明海ショップ(売店)、2～5階は約29万冊の蔵書を誇る図書館となっている。



### ラーニングcommonsで、学生のさらなる学びを支援

2016年、図書館内にMeikai Learning Commons(ラーニングcommons)を設置。学生の自主的な学び(アクティブ・ラーニング)を支援するための施設となっている。



## F 外国語学修、異文化交流などグローバル活動に対応

### 明海複言語・複文化教育commons 通称: MPPEC (エムベック)

明海大学の言語教育の基本理念である複言語・複文化主義を実践するための場として2017年4月に開設された。日本語・英語・中国語の各言語ゾーンや多目的ゾーンをROJI(路地)でつなぐ。学生の学ぶ意欲を掻き立てる環境が整っている。



## G NEW 2018年4月OPEN

### 教職課程センター・地域学校教育センター 通称: METTS Commons (メッツcommons)

教員免許状の取得を目指す学生をサポートする教職課程センター・地域学校教育センターが、メッツcommonsとしてリニューアル。教員になるという夢の実現のため、授業時間外の学習も経験豊富な教員がサポートしてくれる。



1993



1998



2002



2007



2010



2014

# 浦安キャンパスと新浦安の街並み

20周年記念誌の発行から10年。その間に東日本大震災が起こり、大学はもとより新浦安全体も大きな被害を受けた。その後の復興と、復興してからの開発・発展は目覚ましく、新浦安・舞浜の底力を感じる。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、進化の勢いは増すばかり。街の進化の一端をご紹介します。

## SHINURAYASU HISTORY

- 1983(S58)年 ◆ 東京ディズニーランド開園(舞浜)
- 1988(S63)年 ◆ 明海大学開校
  - ◆ JR京葉線一部開通 新浦安駅、舞浜駅開業
- 1990(H2)年 ◆ JR京葉線全面開通
  - ◆ ショッパーズプラザ新浦安、浦安市民プラザ Wave101、ショッピングモールMONA新浦安がオープン
- 1993(H5)年 ◆ JR駅ビル・アトレ新浦安、浦安ブライトンホテル(現/浦安ブライトンホテル東京ベイ)オープン
- 1995(H7)年 ◆ 新浦安オリエンタルホテル(現/オリエンタルホテル東京ベイ)オープン
  - ◆ 新浦安駅周辺が「都市景観100選」に
- 2000(H12)年 ◆ 高洲海浜公園オープン
- 2001(H13)年 ◆ 東京ディズニーシーオープン(舞浜)
- 2003(H15)年 ◆ ケーヨーD2、ケーズデンキ、ベビーザラスなど大型店が相次いでオープン
- 2005(H17)年 ◆ パーム&ファウンテンテラスホテル(現/東京ディズニーセレブレーションホテル)オープン
  - ◆ ホテルエミオン東京ベイオープン
- 2006(H18)年 ◆ 駅前複合施設・マレーオープン
- 2007(H19)年 ◆ 三井ガーデンホテルプラナ東京ベイオープン
- 2008(H20)年 ◆ 浦安市総合公園全面オープン
- 2010(H22)年 ◆ 地域交流プラザ エスレ高洲オープン
- 2011(H23)年 ◆ 東日本大震災発生
- 2012(H24)年 ◆ 日の出橋開通(境川最下流の橋)
- 2014(H26)年 ◆ シンボルロード、新浦安駅前広場、舞浜駅前広場の復旧工事・液状化対策工事終了
  - ◆ 高洲中学校開校
- 2016(H28)年 ◆ 市役所新庁舎竣工
- 2017(H29)年 ◆ ラ・ジェント・ホテル東京ベイオープン
  - ◆ 浦安音楽ホールオープン
- 2018(H30)年 ◆ ホテルエミオン東京ベイ新館エミオンスクエアオープン
  - ◆ 「タイムスタウン新浦安」分譲マンション建設スタート
  - ◆ コンフォートスイーツ東京ベイオープン
  - ◆ 東京ベイ東急ホテルオープン
  - ◆ 「タイムスタウン新浦安」分譲マンション建設竣工予定(7月)
  - ◆ 「マリナガーデン新浦安」全店開業予定
  - ◆ 「ジ・アイルズ」全街区街開き予定
- 2019(H31)年 ◆ 「(仮称)千葉大学病院浦安リハビリテーション教育センター城東桐和会浦安病院」開院予定
  - ◆ ハイアットプレイス東京ベイオープン予定



### 東日本大震災を超えてー

2011年3月11日午後2時46分ころ、東北地方太平洋沖で起こった大地震はマグニチュード9.0。浦安市も激しく揺れ、埋め立てによって誕生した街は広範囲に液状化現象が発生。道路に亀裂が走り、隙間から地中の土砂が溢れだすなど、街は大きな被害を受けた。地震から7年。この大災害を教訓に浦安市は改めて「災害に強い街」を目指し、街づくりを進めている。



大型開発/明海2丁目

2018.7  
マンション  
竣工予定

タイムスタウン新浦安

すべての世代が健康で安心して暮らせる街づくりを目指している。敷地にはマンション、戸建のほか、保育園、高齢者福祉施設、公園などを設ける予定。



▲2018年5月撮影



ホテル/明海5丁目

2019  
開業予定

ハイアットプレイス  
東京ベイ



ハイアットが世界展開しているセレクトサービスブランド「ハイアットプレイス」の日本初進出事業。10階建て（地下1階）。全365室。

ホテル/日の出7丁目

2018.  
5.1

東京ベイ東急ホテル

海辺に面し、全客室から東京湾が望める。特に最上階（18階）からの広大な空と海の眺めは絶景。全638室。



ホテル/日の出1丁目

2018  
1.27

ホテルエミオン東京ベイ  
新館「エミオンスクエア」

その名の通り、中央が吹き抜けになった四角いホテル。全204室。3つの食事会場は、宿泊者以外でもパーティーなどで利用可。



浦安キャンパスと新浦安の街並み

大型開発+ホテル/日の出5丁目

2017.3  
ホテル  
OPEN

ホテル&複合商業施設  
『マリナガーデン新浦安』



2017年3月に「ラ・ジェント・ホテル東京ベイ」が、次いで「メルセデス・ベンツ浦安」、「BEST STYLE FITNESS」がオープン。新浦安での暮らしがより豊かに…。

ラ・ジェント・ホテル東京ベイ



カラフルで遊び心あふれる館内。全291室。

大型開発/日の出

2018

分譲戸建街 ジ・アイルス



大震災の影響でプロジェクトが一時凍結されたが、「新浦安に新たな価値をもたらす街を作ろう」と、液状化対策工事の実施、リゾート感あふれる街並み、太陽光発電システムを採用するなど価値をプラス。定期的にマルシェを開催。

明海大学の魅力を聞く

# MEIKAI FUN

明海大学にはきょうだいで通う（通った）“明海ファン”がいます。

複数の子どもを通わせた保護者に、お子さんたちの声とともに

明海大学の“魅力”を伺いました。

その魅力は大学の“強み”。もっともっと、多くの人に伝わりますように…。

保護者：大塚政子さん

大塚健人さん

(2012年度 ホスピタリティ・ツーリズム学科卒)

大塚宏貴さん

(2015年度 ホスピタリティ・ツーリズム学科卒)

大塚湧也さん

(2018年度 ホスピタリティ・ツーリズム学科入学)

**Q** どうして明海大を選んだのですか？

**A** ホスピタリティ・ツーリズム学部の**英語指導、就職指導が徹底**していたため。三男の湧也は英語を学びたいという思いはあったのですが、大学選びは迷っていました。上の二人の強い勧めで明海大学に決めました。

**Q** 先に進学したお子さんは、大学についてどのような話をしていましたか？

**A** 「在学中の**英語 (TOEIC)** は大変だったが、**必ず役に立つ**」。長男は図書館を利用して勉強していたようで、下の子にも引き継がれています。そして、先生方の熱心な指導に随分助けられたと話していました。

**Q** 在学中や卒業後にご兄弟で大学の話をされることはありましたか？

**A** お世話になった先生やTOEICの勉強についてよく話をしています。

**Q** 大学で学んだことは、社会に出てどう生きていますか？

**A** **語学力とインターンシップでの人脈づくり**。また、希望の仕事に就くことができ、充実した日々を過ごしています。

**Q** ご兄弟で同じ大学に進学されたことや、明海大学の教育などについて思われることを教えてください

**A** 先生方との距離が近いことと手厚い指導にとっても感謝しております。

上の子と一番下の子では10歳年が離れているのですが、進級要件も変わり、厳しくなったなと思いました。でも、ただ厳しくなっただけでなく、それを後押しする**フォロー体制**や図書館など**設備や環境も整っている**と感じています。

下の子は今年入学したばかりですので、就職懇談会や地区教育懇談会などには積極的に参加したいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。



◀ 右から健人さん、宏貴さん、湧也さん



保護者：栗本真弓さん

栗本（現 矢野）香里さん（2009年度 日本語学科卒業）

栗本 直弥さん（2017年度 経済学科卒業）



▲栗本真弓さん、直弥さん、香里さんとお孫さんたち

**Q** どうして明海大を選んだのですか？

**A** 香里さん：当初は英米語に興味があり、明海大学のオープンキャンパスに参加して、いろいろと学部・学科を見て回るうちに、日本人として日本語を学ぶことも良いかと思いました。また、大学の**設備と地域との一体化**した環境に惹かれて、学びやすさと通学のしやすさを感じ明海大学に決めました。

**A** 直弥さん：姉の在学中、自分はまだ小学生の高学年で、友達と明海大学の学園祭に行き、姉や大学生が**楽しそう**に参加している様子がとても印象に残っていた。

高校のとき、大学の志望校を決めるにあたり、担任の先生が進める大学より、明海大学に行きたいと、強く思うようになりました。

また、小・中・高校とサッカーに励み頑張ってきた思いもあり、実力的には明海大のサッカー部入部には及ばなかったが、サッカー部に力を入れているということも、選択するうえで影響が少しはあったかと思えます。

**Q** 先に進学したお子さんは、大学についてのどのような話をしていましたか？

**A** 直弥さん：姉とは8学年も離れていて選択した学部も違ったので、大学についての会話はあまりしなかったと思います。ただ、姉が1年生のときに授業の選択、履修の仕方などで苦労や失敗したと聞き、自分の履修届のときに、いろいろとアドバイスをもらいありがたかったです。

**Q** 大学で学んだことは、社会に出てどう生きていますか？

**A** 香里さん：明海大での同じサークル仲間が、今の主人。明海大同窓生で明るい家庭を築いています。

**A** 直弥さん：授業で学んだことはもとより、お世話になった先生方や友達と培った**コミュニケーション能力**を大いに発揮して、新社会人として活躍していきたいと思います。

**Q** お子さんたちが同じ大学に進学されたことや、明海大学の教育などについて思われることを教えてください

**A** きょうだいの年齢が大分離れていて、また姉と弟ということで進学する大学は違うだろうと思っていましたが、弟の直弥が明海大に進学したいというのを聞いたときには、多少なりとも姉の影響があったのかなと改めて思いました。家族にもなじみ深い大学ですし、本人の強い希望もあり応援する気持ちでいっぱいでした。

姉が在籍していたころと、弟のときとは学生数が減少してしまいましたが、各学部学科の活性化の取り組みや**就職率**、そして学生が勉強する環境の**設備**がとても**充実**していることを実感しました。

明海大学では特に、私自身教育後援会という保護者の会に2度関わることができ、大学の成長した部分を感じるとともに、内側からみて大学が学生に対して常にアンテナをはり、丁寧に指導されているなと感じ、またそれを学生が積極的に受け入れ活用してほしいと思いました。

これからも、明海大学の益々のご発展をお祈りいたします。

# 30周年記念事業 実行委員会活動報告

30周年記念事業は、2017年度の教育後援会役員が実行委員となり、栗本実行委員長を軸に準備してきました。記念品・記念誌・祝賀会の3つの部会に分かれて任務を遂行。教育後援会の30周年を祝いつつ、これまでご支援・ご協力して下さった方への感謝の気持ちを伝え、また、さらなる発展へ向け新たな一歩を踏み出したいとの思いで活動してきました。

記念事業に携わった各部会より、活動のご報告をさせていただきます。

## 記念事業を振り返って

私は、20周年記念事業に携わせていただいたこともあり、今回の事業にあまり「未知の不安」を抱くことなく幸いでした。

各部会の方々には、大変よく活動していただきました。従来の役員会および業務のほかはこの記念事業の活動が重なり、時間的にもいろいろと負担があったと思いますが、役員の方々と顔を合わせる機会が多かった分、いつになくコミュニケーションが図れたように思います。

また、教育後援会事務局と大学職員の方々の力なくしてはこの事業は円滑に進んでいなかったと思います。あらためて30周年記念事業に携わっていただいた皆様に感謝いたします。 実行委員長 栗本真弓



## 祝賀会

祝賀会開催の1年少し前から会場の選定を開始しました。日程は教育後援会評議委員会の開催日とされており、選定の基準としては祝賀会の規模感と、アクセス面を第一として検討に入りました。ここ近年、新浦安周辺には新しいホテルが次々と開業する予定がありましたが、30周年の祝賀会式典にふさわしい雰囲気と料理などを網羅でき、かつ予算面に合致するかを総合的に勘案して選定を行いました。

祝賀会の内容につきましては、あまりかしまった内容に偏らないよう、華やかさを醸し出すことも大きな要素と考え、20周年記念式典時にはなかった演出として、教育後援会がその活動を支援してきたジャズオーケストラ部を招聘し、楽しく華やかな雰囲気の提供を目指しました。

祝賀会の日程が近づくに連れ、最終調整が完了するの若干の不安もありますが、当日にはご来賓の皆様のご受付も担当しておりますので、最後まで気を抜かず、メンバー一丸となって頑張りたいと思います。



<メンバー> 本多輝明、渡邊香、今野正弘、小笠原操、菅原朋子

<事業内容> ・祝賀会会場の選定～見積もり～確定  
・祝賀会(式典)の規模、内容の検討  
・祝賀会当日の受付

## 記念品

<メンバー>

福田清一、山岡麻子、樋口節子(撮影時不在)、嵯峨邦江、山本和枝、山本正美

<事業内容>

・記念品選定、準備、手配  
(感謝状、置時計、風呂敷、洋菓子)

最初は、なかなか良いものが思い浮かばず、次回の会議までの宿題にすると、素晴らしい記念品がいろいろ出てきて、今度は選ぶのに苦労しました。実用的でもらってうれしい商品は、どれなのか？どのデザインが良いかを記念品部会全員で検討しました。



風呂敷を選んだときは、デザインだけで20種類以上あり、ロゴマークも何種類か候補がありました。色、形、バランスなどいろいろな組み合わせをして全員が笑顔で意見を出し合い、とても楽しく会議をしていました。「お菓子もあった方がいいね」という意見からお菓子選びが始まりました。しかし、予算を超えてしまい少し焦りましたが、予算が通り、思い通りの記念品(手土産)を用意でき、全員が達成感を感じられました。

## 記念誌

<メンバー>

戸澤五月、鈴木千代子、村田由実、山田文代、高橋直美、坂本朋恵、出口ゆり

<事業内容>

・30周年記念誌の企画・編集・発行

編集会議には、栗本真弓実行委員長、秋山敏夫事務長、記念誌作成でお世話になる明光企画のお二方も参加してくださいました。

私たちが最初に行ったのは、20周年記念誌を読み、どんな内容が掲載されているかを確認し、その流れを壊すことなく引き継ぎ、さらに新しい記事の企画を考察しました。

通常の30周年記念誌実行委員会の6回では編集会議の時間が足りず、2倍以上の編集会議を重ねるうちに内容も深まり、またメンバーの絆も深まったのは、言うまでもありません。

少しずつ私たちの企画した記念誌が形となって出来上がるのを見たときは、皆とてもうれしく、充実した達成感で胸がいっぱいになりました。



## 編集後記

明海大学浦安キャンパス教育後援会創立30周年を迎えるにあたり、2017年6月から、30周年記念実行委員会が発足し、記念誌部会として、30周年記念誌作成の準備が始まりました。30周年記念誌は、20周年記念誌の流れを引き継ぐ形で、内容を構成していく方針に決定しました。



編集会議の様子

30周年記念座談会で、話が20周年のときに植樹したジャカランダの木に到ったとき、将来ジャカランダの木が大きくなり、花もたくさん咲くようになれば、きっと地域の人々の憩いの場になるのではないかと、という教育後援会役員の方々の熱い思いが込められていることを知りました。今回の座談会をメインに、20周年記念誌に掲載された座談会部分も抜粋で盛り込みました。

明海大学に関する保護者アンケートは、20周年記念誌に掲載された回答と比較検討もできるように、時代に即した文言で同じ内容の質問にしました。

30周年記念誌のための新しい企画は、明海大学のさらなる魅力を発掘し、それを広く世間にアピールするべく、複数のお子さまを明海大学に通わせた保護者に、お話を伺うことでした。なんと、3人のご兄弟が皆同じ学科という方と、学部学科がそれぞれ異なるご姉弟2人を通わせた方にお話を伺うことができました。複数のお子さまを明海大学に通わせた保護者は、まだまだいらっしゃるようですし、聞くところによると、4人のお子さまを明海大学に通わせた方もいらっしゃるかと……。

明海大学の魅力が、世間一般にもっと広がり浸透していくことを願っています。

この記念誌を作成する上で、記念誌部会の役員の方、宮田理事長・安井学長はじめ大学関係の方、明光企画の中村様、山口様、惜しみないご指導とご協力ありがとうございました。心より感謝いたします。

(文責・戸澤五月)

発行日 2018年6月2日

発行 明海大学浦安キャンパス教育後援会

〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目

TEL: 047-355-5112 FAX: 047-355-2871

<http://www.meikai-koenkai.com/>

編集 創立30周年記念誌編集委員

戸澤五月 鈴木千代子 村田由実 山田文代 高橋直美

出口ゆり 坂本朋恵 秋山敏夫(前事務長) 桐原公夫(事務長)